

令和 3 年
消 防 年 報



淡路広域消防事務組合消防本部

淡路消防の歌

作詞 南 茂広

作曲 柏木英樹



淡路消防の歌

一
情け溢れる故郷は 笑顔眩しい神の島
な ぎ あ ふ ふ る さ と え が お ま ぶ か み し ま
れ き し さ ち わ た し ん め い と さ い か
歴史と幸は渡すまい 身命賭して災禍から

かげ ひなた きた しんぎ
陰に日向に鍛えし心技

いざ 淡路消防 貫く使命
あ わ じ し ょ う ぼ う つ ら ぬ し め い

二
瀬戸の波間に陽が沈み 灯す団らん街あかり
せ と な み ま ひ し ず と も だ ん ま ち
し あ わ せ 色 の 夢 と 愛 ぐ れ ん ひ ま も
日ごと夜ごとの点検整備 紅蓮の炎から守るため

ひ よ て ん け ん せ い び
日ごと夜ごとの点検整備

いざ 淡路消防 貫く使命
あ わ じ し ょ う ぼ う つ ら ぬ し め い

三
人の命の尊さに 勝る宝は他に無し
ひ と い の ち と う と ま さ た か ら ほ か な
あ め か ぜ ゆ き な ん し ょ う ぎ
雨風雪も何のその 章旗のほこり胸高く

にし ひ が し す ん び ょ う お
西に東に寸秒惜しみ

いざ 淡路消防 貫く使命
あ わ じ し ょ う ぼ う つ ら ぬ し め い

いざ 淡路消防 貫く使命
あ わ じ し ょ う ぼ う つ ら ぬ し め い

は じ め に

この年報は、淡路広域消防事務組合の現況及び令和３年又は令和４年度を主とした消防業務に関する状況を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに消防事情を広く紹介するために編集したものです。

この年報に用いた資料は、特に表示のない限り暦年をもってあらわし、人事・予算関係については会計年度により作成しました。

令和４年６月

淡路広域消防事務組合消防本部

目 次

1	組合の沿革	1、2、3
2	組合の地勢	4
3	構成市の現勢	5
4	組合規約、組合章	6、7
総 務		
1	組織	9
2	分掌事務	10、11、12
3	消防機関の配置状況	13
4	消防機関の概要	14
5	職員の配置状況	15
6	職員の勤務年数	15
7	職員の年齢	16
8	職員の任用状況	17
9	消防学校等への入校状況	17
10	消防吏員の資格免許等取得現況	18
11	予算の推移	19
警 防		
1	消防車両等の現況	21
2	消防機器の現況	22
3	特殊装備資機材の現況	23
予 防		
1	防火対象物の現況	25
2	防火対象物の立入検査実施状況	26
3	火災予防条例届出の処理状況	27
4	工事整備対象設備等着工届及び工事計画届の受理状況	28
5	建築確認申請の同意処理状況	28
6	危険物施設の現況	29
7	危険物関係の許認可状況	29
指 令		
1	消防通信系統図	31
2	無線局の整備状況	32
3	無線波の整備状況	32
4	119番の受信状況	33
5	緊急通報システム受信状況	33

統 計

1	火災統計	35
(1)	火災発生状況の推移	36
(2)	火災概況の前年比較	37
(3)	構成市別の火災発生状況	38
(4)	月別の火災発生状況	39
(5)	覚知方法別の火災発生状況	40
(6)	曜日別の火災発生状況	41
(7)	時間別の火災発生状況	42
(8)	出火原因別の火災発生状況	43
(9)	署所別の火災発生状況	44
2	救急統計	45
(1)	構成市別の救急出場状況	46
(2)	月別の救急出場件数	47
(3)	覚知別の救急出場件数	47
(4)	曜日別の救急出場件数	48
(5)	時間別の救急出場状況	48
(6)	救急搬送人員の推移	49
(7)	構成市別の救急搬送人員	50
(8)	年令区分別の救急搬送人員	51
(9)	居住地別の救急搬送人員	52
(10)	収容所要時間別の救急搬送人員	53
(11)	傷病程度別の救急搬送人員	53
(12)	救急隊員の行った応急処置状況	53
(13)	署所別の救急出場状況	54
3	救助統計	55
(1)	構成市別の救助出動状況	56
(2)	月別の救助出動状況	56
(3)	発生場所別の救助出動等の状況	57
4	その他の出動状況	58
5	神戸淡路鳴門自動車道の災害出動状況	58

1 組合の沿革

昭和22年11月30日	兵庫県告示第648号消防署設置規定により兵庫県洲本消防署として発足。 本署を洲本市外町通洲本幼稚園に置き、署員13名、消防ポンプ自動車1台を設置、消防業務を開始し、一応の態勢を整える。
昭和22年12月27日	消防組織法が公布される。
昭和23年 3月 7日	消防組織法の施行により消防が警察から完全分離独立して自治体消防となり、洲本市消防本部（消防署）として名実共に市民の消防として発足する。署員20名、消防ポンプ自動車1台を受け入れる。
昭和37年 2月14日	消防用超短波無線電話業務開始。
昭和38年 6月23日	洲本市消防本部（消防署）庁舎新築移転。
昭和41年 5月 1日	洲本市消防署由良出張所開設。
昭和41年11月16日	洲本市消防特別救助隊発足。
昭和43年 9月 1日	救急業務政令指定都市となり救急業務開始。
昭和47年12月26日	淡路1市10町が淡路広域消防事務組合設置申請書を県知事へ提出。
昭和48年 1月11日	兵庫県指令地第5282号をもって県知事から淡路広域消防事務組合設立許可。 淡路広域消防事務組合設立。
昭和48年 1月13日	市町から事務職員5名の派遣を受けて淡路広域消防事務組合の事務を行う。
昭和48年 1月16日	淡路広域消防事務組合消防本部の設置。
昭和48年 4月 1日	組合職員定数を133名とし、洲本市から消防吏員47名の派遣及び消防庁舎（本署、由良出張所）の無償貸与とともに現有消防資器材（常備分）の無償譲渡を受け、淡路広域消防事務組合（署）の業務を開始する。 （1本部、3課、1署、1出張所、2仮事務所）
昭和48年 4月 5日	自治省告示第74号により消防本部及び消防署を置かねばならない町に指定される。（津名町、東浦町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、緑町、西淡町、三原町、南淡町） 津名郡、三原郡の各町村会事務所にそれぞれ津名仮事務所、三原仮事務所を開設し、管内の地水利、防火対象物等の調査を行い、出張所開設に備える。
昭和48年11月29日	一斉指令装置、自動交換機を設置。
昭和49年 5月 1日	津名仮事務所、三原仮事務所を廃止し、淡路町岩屋に岩屋出張所、南淡町賀集に南淡出張所を開設し、業務開始。
昭和49年 6月29日	自治省告示第131号により救急業務を行わなければならない町に指定される。 （津名町、東浦町、淡路町、北淡町、一宮町、五色町、緑町、西淡町、三原町、南淡町）

昭和49年 7月22日	鳴門市消防本部と救急応援協定を締結。
昭和50年 4月21日	消防本部、署機構改革で3課7係を2課6係に改編し、岩屋出張所を分署に昇格する。 (1本部、2課、1署、1分署、4出張所)
昭和50年 5月 1日	北淡出張所、五色出張所業務開始。
昭和50年12月25日	本部庁舎建設用地購入。(洲本市塩屋一丁目439外)
昭和51年 4月 1日	消防署機構改革。 南淡出張所を分署に昇格する。
昭和51年 5月 1日	西淡出張所業務開始。 (1本部、2課、1署、2分署、4出張所)
昭和53年12月 5日	消防本部庁舎完成。
昭和53年12月11日	消防本部・洲本消防署、新庁舎移転業務開始。
昭和55年 4月 1日	組合職員定数を147名とする。
昭和57年11月 1日	津名昼間救急分遣所業務開始。 (1本部、2課、1署、2分署、4出張所、1分遣所)
昭和59年12月 1日	西淡出張所救急業務開始。
昭和60年 5月17日	鳴門市消防本部と消防相互応援協定を締結。
昭和60年 6月 8日	大鳴門橋供用開始
昭和62年12月 1日	河川情報システム運用開始。
昭和63年 8月 1日	兵庫県広域消防相互応援協定を締結。
平成元年12月25日	消防緊急通信指令施設(Ⅱ型)運用開始。
平成 2年 9月 1日	緊急通報システム運用開始。
平成 5年 4月 1日	組合職員定数を162名とする。 兵庫県衛星通信ネットワーク運用開始。
平成 6年11月 2日	五色出張所救急業務開始。
平成 7年 1月17日	午前 5時46分 兵庫県南部地震発生
平成 7年 4月 1日	消防本部機構改革で2課6係を2課8係に改編する。
平成 7 年 度	救急救命士養成開始。
平成 7年 7月 1日	ドクターカー運用開始(試行)。
平成 7年11月 1日	北淡出張所救急業務開始。
平成 8年 4月 1日	組合職員定数を172名とし、機構改革で消防本部2課8係を3課8係に、署6係を2係に改編する。 (1本部、3課、1署、2分署、4出張所、1分遣所)
平成 9年 4月 1日	津名昼間救急分遣所を廃止し、津名一宮出張所を開設、業務開始。

	(1本部、3課、1署、2分署、5出張所)
平成10年 3月 1日	神戸市消防局、鳴門市消防本部と本州四国連絡道路消防相互応援協定を締結。
平成10年 4月 1日	高規格救急自動車運用開始。 携帯電話等からの119番通報受信開始、緊急通報ファクシミリ運用開始。
平成10年 4月 5日	明石海峡大橋供用開始。
平成14年12月 1日	由良出張所救急業務開始。
平成15年 4月 1日	消防署機構改革。 津名一宮出張所を分署に昇格する。
	(1本部、3課、1署、3分署、4出張所)
平成16年 4月 1日	組合職員定数を204名とし、消防本部機構改革で3課8係を4課8係に改編する。
	(1本部、4課、1署、3分署、4出張所)
	高機能消防指令センター運用開始。
平成17年 1月11日	三原郡緑町、同西淡町、同三原町及び同南淡町の合併（南あわじ市）により組合構成市町は2市6町となる。
平成17年 4月 1日	津名郡津名町、同東浦町、同淡路町、同北淡町及び同一宮町の合併（淡路市）により組合構成市町は3市1町となる。
平成18年 2月11日	洲本市と津名郡五色町の合併（洲本市）により組合構成市は3市となる。
平成20年 4月 1日	携帯電話・IP電話発信地位置情報通知システム運用開始。
平成27年 4月 1日	消防本部機構改革で4課8係を3課8係に改編する。
	(1本部、3課、1署、3分署、4出張所)
	高機能消防指令センター運用開始（更新）。
	消防救急デジタル無線運用開始。
平成28年 2月29日	消防本部庁舎完成
平成28年 3月14日	消防本部・洲本消防署、新庁舎業務開始
令和元年 4月 1日	多言語通訳サービス運用開始
令和元年 8月22日	兵庫県石油商業組合淡路支部と災害時の支援活動等における相互協力に関する協定を締結
令和元年12月 1日	NET119緊急通報システム運用開始
令和 3年 4月 1日	由良出張所 新庁舎移転業務開始
令和 3年12月 3日	神戸市と相互応援協定を締結

2 組合の地勢

当消防本部が管轄する淡路島は、瀬戸内海国立公園の東部に位置し、南北55km、東西28km、周囲203kmの細長い島です。総面積は595.63km²で兵庫県の面積の7.1%を占めており、北部には津名丘陵が南北に走り、その東西はいずれも傾斜地で海岸線に若干の耕地を形成しています。中部から南部にかけては島内最大の平坦地である三原平野が広がり、洲本川、三原川が流れています。南部は淡路最高峰の諭鶴羽山（608m）を有する諭鶴羽山地が東西に走り、断崖絶壁の海岸線を形成しています。

昭和60年6月に大鳴門橋が開通、平成10年4月には明石海峡大橋が開通し、淡路島は本州、四国と陸続きで結ばれました。

気候は冬季温暖で年間を通じて降水量の少ない瀬戸内海気候に属しています。



3 構成市の現勢

区 分 構成市	面 積 (km ²)	山林面積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)
洲 本 市	182.38	95.00	42,064	20,224
南 あ わ じ 市	229.01	57.00	45,501	19,730
淡 路 市	184.24	52.00	42,721	20,177
合 計	595.63	204.00	130,286	60,131

(令和4年4月1日現在。面積は、令和4年1月1日国土地理院面積調による。)

南あわじ市は平成17年1月11日に旧三原郡4町（緑町、西淡町、三原町及び南淡町）が合併、淡路市は平成17年4月1日に津名郡6町のうち5町（津名町、東浦町、淡路町、北淡町及び一宮町）が合併、また洲本市は平成18年2月11日に洲本市と津名郡五色町が合併し発足しました。

4 組合規約

(名称)

第1条 この組合は、淡路広域消防事務組合（以下「組合」という。）という。

(組織)

第2条 組合は、次の市（以下「関係市」という。）をもつて組織する。

洲本市 南あわじ市 淡路市

(共同処理する事務)

第3条 組合は、次に掲げる事務を共同処理する。

- (1) 消防に関する事務（消防団及び消防水利に関する事務を除く。）
- (2) 高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る知事の権限に属する事務のうち、知事の権限に属する事務に係る事務処理の特例に関する条例（平成11年兵庫県条例第53号）の規定により関係市が処理することとされた事務

(事務所の位置)

第4条 組合の事務所は、洲本市塩屋一丁目2番32号に置く。

(議会の組織及び議員の選任)

第5条 組合議会の議員（以下「組合議員」という。）は、関係市の議会の議長、副議長及び総務常任委員会の長をもつて充てる。

(組合議員の任期)

第6条 組合議員の任期は、関係市における議会の議長、副議長及び総務常任委員会の長の任期による。

(執行機関の組織及び選任)

第7条 組合に、管理者、副管理者2人及び会計管理者を置く。

- 2 管理者は、関係市の長のうちから互選し、副管理者は、管理者以外の関係市の長をもつて充てる。
- 3 会計管理者は、管理者の属する市の会計管理者をもつて充てる。

(管理者及び副管理者の任期)

第8条 管理者及び副管理者の任期は、2年とする。ただし、任期中にそれぞれの当該市における長としての任期が終了した場合は、その職を失うものとし、この場合における後任の管理者及び副管理者の任期は、前任者の残任期間とする。

(職員)

第9条 組合に消防職員を置き、その定数は条例で定める。

(監査委員)

第10条 組合に、監査委員3人を置く。

2 監査委員は、管理者が組合議会の同意を得て、関係市の監査委員で識見を有する者のうちから2人及び組合議員のうちから1人を選任する。

(監査委員の任期)

第11条 監査委員の任期は、識見を有する者のうちから選任された者にあつては当該市における監査委員としての任期とし、組合議員のうちから選任された者にあつては組合議員としての任期による。

(組合経費支弁の方法)

第12条 組合経費は、関係市の負担金、寄附金その他の収入をもつてこれに充てる。

2 第3条第1号に係る経費の負担金は、財産から生ずる収入、使用料、手数料その他の収入をもつて支弁し、なお不足があるときは、その不足額の100分の33を均等割に、100分の67を人口割により、関係市に分賦する。
この場合において、人口割は、最近における国勢調査の結果による関係市の人口によるものとする。

3 第3条第2号に係る経費の負担金は、関係市に交付された兵庫県移譲事務市町交付金相当額とする。

4 第1項の負担金は、管理者の定める日までに組合に納入するものとする。

組 合 章



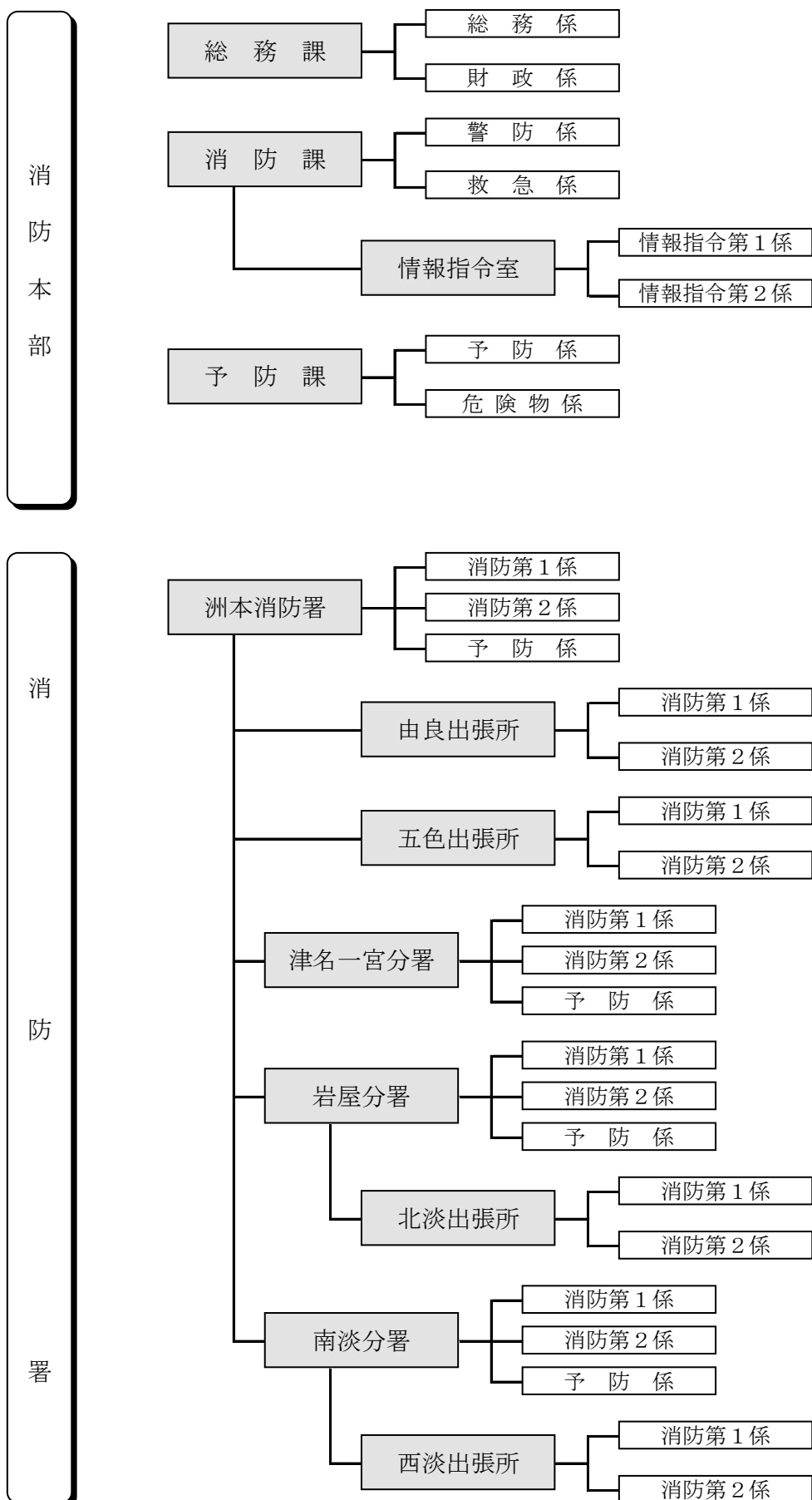
(趣旨)

消防章を淡路の木うばめがしの葉、
11枚（組合発足時の構成市町の数）
で囲み、さらに葉間を海でつなぎ、
愛と勇気と団結力を表す。

総務



1 組 織



2 分掌事務

消防本部

総務課

総務係

- 1 公印に関すること。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 3 組織及び機構に関すること。
- 4 重要な企画の総合調整に関すること。
- 5 渉外及び連絡調整並びに儀式及び表彰に関すること。
- 6 消防広報の統括に関すること。
- 7 条例、規則等の制定改廃に関すること。
- 8 職員の定数及び配置に関すること。
- 9 職員の階級、任免、分限、懲戒、服務、賞罰その他身分に関すること。
- 10 職員の給与及び旅費に関すること。
- 11 職員の勤務時間その他勤務条件に関すること。
- 12 職員の教養計画に関すること。
- 13 職員の福利厚生に関すること。
- 14 職員の公務災害に関すること。
- 15 職員の衛生及び安全管理に関すること。
- 16 組合議会事務に関すること。
- 17 組合監査委員事務に関すること。
- 18 消防職員委員会に関すること。
- 19 消防本部及び課の庶務に関すること。
- 20 その他他課係の所管に属さない事項に関すること。

財政係

- 1 組合財政計画に関すること。
- 2 予算及び決算関係事務の統括に関すること。
- 3 収入及び支出命令に関すること。
- 4 補助、公債及び借入金に関すること。
- 5 職員の服制及び諸貸与品に関すること。
- 6 消防財産の統括に関すること。
- 7 物品の購入及び修繕に関すること。
- 8 消防施設の維持管理に関すること。
- 9 消防施設の増改築及び営繕計画に関すること。
- 10 消防施設の使用に関すること。
- 11 消防施設の調査研究に関すること。
- 12 その他施設整備に関すること。

消防課

警防係

- 1 警防業務及び救助業務の基本計画に関すること。
- 2 水火災等の警戒防ぎょ計画に関すること。
- 3 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 4 消防技術の研究及び指導に関すること。
- 5 警防及び救助隊員の教育訓練に関すること。

- 6 火災及び救助統計に関すること。
- 7 消防機械器具等の配置及び保守管理に関すること。
- 8 自動車運転手の訓練及び消防機械器具等の操作技術の研究及び指導に関すること。
- 9 消防機械器具等の燃料に関すること。
- 10 消防力の整備指針に関すること。
- 11 消防施設整備計画に関すること。
- 12 消防相互応援協定に関すること。
- 13 自主防災組織の育成指導に関すること。
- 14 火災警報に関すること。
- 15 消防及び救助訓練等に係る企画、立案及び調整に関すること。
- 16 災害時の応急措置命令に関すること。
- 17 消防の補助金等に関すること。
- 18 公用車の事故防止及び事故処理の調整に関すること。
- 19 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 20 課（情報指令室を除く。）の庶務に関すること。
- 21 その他課の他係の所管に属さない事項に関すること。

救急係

- 1 救急業務の基本計画に関すること。
- 2 救急資器材の配置運用及び開発に関すること。
- 3 救急技術の研究及び指導に関すること。
- 4 救急隊員の教育及び訓練に関すること。
- 5 感染防止対策に関すること。
- 6 メディカルコントロール体制（医療機関等との連携により救急業務の資質的向上を図る体制をいう。）に関すること。
- 7 救急活動の事後検証に関すること。
- 8 救急統計に関すること。
- 9 その他救急業務に関すること。

情報指令第1係及び情報指令第2係

- 1 災害発生通報の受信及び出動指令に関すること。
- 2 警防活動に必要な部隊の運用及び通信統制に関すること。
- 3 災害現場への情報支援並びに災害時の情報収集及び管理に関すること。
- 4 消防通信施設の整備計画、維持管理及び技術指導に関すること。
- 5 救急医療情報の収集及び気象情報等の受理伝達に関すること。
- 6 職員の非常召集に関すること。
- 7 関係機関への連絡及び出動要請に関すること。
- 8 消防緊急情報システムの運用及び保守管理に関すること。
- 9 消防緊急情報システムで処理するデータの管理に関すること。
- 10 緊急通報システム受信センターの運営に関すること。
- 11 その他消防通信業務に関すること。
- 12 情報指令室の庶務に関すること。

予防課

予防係

- 1 火災予防広報に関すること。
- 2 防火思想の普及、啓発に関すること。
- 3 防火対策の計画及び調査研究に関すること。
- 4 建築確認及び建築許可の同意に関すること。
- 5 消防用設備等の設置に関する指導及び規制に関すること。
- 6 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。
- 7 液化石油ガス設備工事届の受理、施工場所に対する立入検査及び販売事業者に対する基準適合命令に関すること。
- 8 高圧ガス消費事業所に対する立入検査及び措置命令に関すること。
- 9 予防査察計画に関すること。
- 10 防火管理者の講習及び指導に関すること。
- 11 自衛消防隊の育成指導に関すること。
- 12 防火基準適合表示に関すること。
- 13 予防統計に関すること。
- 14 その他火災予防に関すること。
- 15 課の庶務に関すること。
- 16 その他課の他係の所管に属さない事項に関すること。

危険物係

- 1 危険物の指導及び規制に関すること。
- 2 指定可燃物の指導及び規制に関すること。
- 3 火薬類貯蔵者に対する立入検査及び貯蔵改善命令に関すること。
- 4 消防保安協会及び少年消防クラブ等に関すること。
- 5 危険物統計に関すること。
- 6 その他危険物等に関すること。

消防署

消防第1係及び消防第2係

- 1 公印に関すること。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 3 水火災等の警戒防ぎょに関すること。
- 4 地水利調査に関すること。
- 5 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 6 警防関係届出等の処理に関すること。
- 7 救急業務及び救助活動に関すること。
- 8 訓練教養等の指導に関すること。
- 9 自主防災組織等の育成指導に関すること。
- 10 消防機械器具等の整備管理、運行に関すること。
- 11 り災証明及び搬送証明に関すること。
- 12 署所間の連絡調整に関すること。
- 13 庶務に関すること。
- 14 その他管内の消防に関すること。

予防係

- 1 火災予防の指導及び査察に関すること。
- 2 予防に関する届出等の処理に関すること。
- 3 消防用設備等に関すること。

3 消防機関の配置状況



4 消防機関の概要

署 所 (建築年月)	所 在 地	
	(用地の説明)	敷地面積(㎡)
	建 物 構 造	延 面 積(㎡)
消 防 本 部 洲 本 消 防 署 (H 28. 2)	洲本市塩屋一丁目 2 番 3 2 号	
	(土地は一部洲本市から貸与)	2, 997. 21
	鉄骨造 地上 4 階建	4, 189. 96
訓 練 塔 (H 18. 3)	洲本市塩屋一丁目 4 3 9 番地	
	(土地は洲本市から貸与)	253. 50
	鉄骨造 地上 5 階建・2 階建	225. 45
津 名 一 宮 分 署 (H 9. 3)	淡路市中田 3 7 2 4 番地 2	
	(土地は淡路市から貸与)	1, 324. 38
	鉄筋コンクリート造 2 階建	405. 94
岩 屋 分 署 (S 49. 3)	淡路市岩屋 2 9 4 2 番地 1 6	
	(土地は淡路市から貸与)	1, 091. 00
	鉄筋コンクリート造 2 階建	423. 90
南 淡 分 署 (S 49. 3)	南あわじ市賀集八幡 2 9 番地 1	
	(土地は南あわじ市から貸与)	1, 207. 94
	鉄筋コンクリート造 2 階建	632. 66
由 良 出 張 所 (R 3. 3)	洲本市由良町由良 2 3 5 3 番地	
	(土地は洲本市から貸与)	1, 346. 24
	鉄骨造 2 階建	467. 82
五 色 出 張 所 (S 50. 3)	洲本市五色町都志 3 0 4 番地 4	
	(土地は洲本市から貸与)	765. 13
	鉄筋コンクリート造 2 階建及び鉄骨造倉庫	301. 75
北 淡 出 張 所 (S 50. 3)	淡路市育波 4 7 8 番地 2	
	(土地は淡路市から貸与)	1, 064. 36
	鉄筋コンクリート造 2 階建	290. 19
西 淡 出 張 所 (S 51. 3)	南あわじ市志知南 1 5 番地	
	(土地は南あわじ市から貸与)	799. 17
	鉄筋コンクリート造 2 階建	284. 80

5 職員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

階級別 所属別		総 数	消 防 吏 員							事 務 職 員
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	次 長	1		1						
	総 務 課	11			2	2	2		2	3
	消 防 課	16			1	8	7			
	予 防 課	5		1	1	1	2			
消 防 署	洲 本 消 防 署	45		1	4	14	9	7	10	
	津 名 一 宮 分 署	21			2	6	7	3	3	
	岩 屋 分 署	21			2	6	5	4	4	
	南 淡 分 署	30			1	9	10	3	7	
	由 良 出 張 所	8				4			4	
	五 色 出 張 所	10				4	2	2	2	
	北 淡 出 張 所	10				4	2	2	2	
	西 淡 出 張 所	11			1	4	2	2	2	
合 計		190	1	3	14	62	48	23	36	3

※ 職員数には、再任用職員（2名）を含んでいます。

6 職員の勤務年数

(令和4年4月1日現在)

階級別 勤務年数別		総 数	消 防 吏 員							事 務 職 員
			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
1 年 未 満		5							3	2
1 年 以 上 3 年 未 満		10							9	1
3 年 以 上 5 年 未 満		11						2	9	
5 年 以 上 10 年 未 満		47					13	19	15	
10 年 以 上 15 年 未 満		29				1	26	2		
15 年 以 上 20 年 未 満		28				24	4			
20 年 以 上 25 年 未 満		11				11				
25 年 以 上 30 年 未 満		33			6	25	2			
30 年 以 上		16	1	3	8	1	3			
合 計		190	1	3	14	62	48	23	36	3

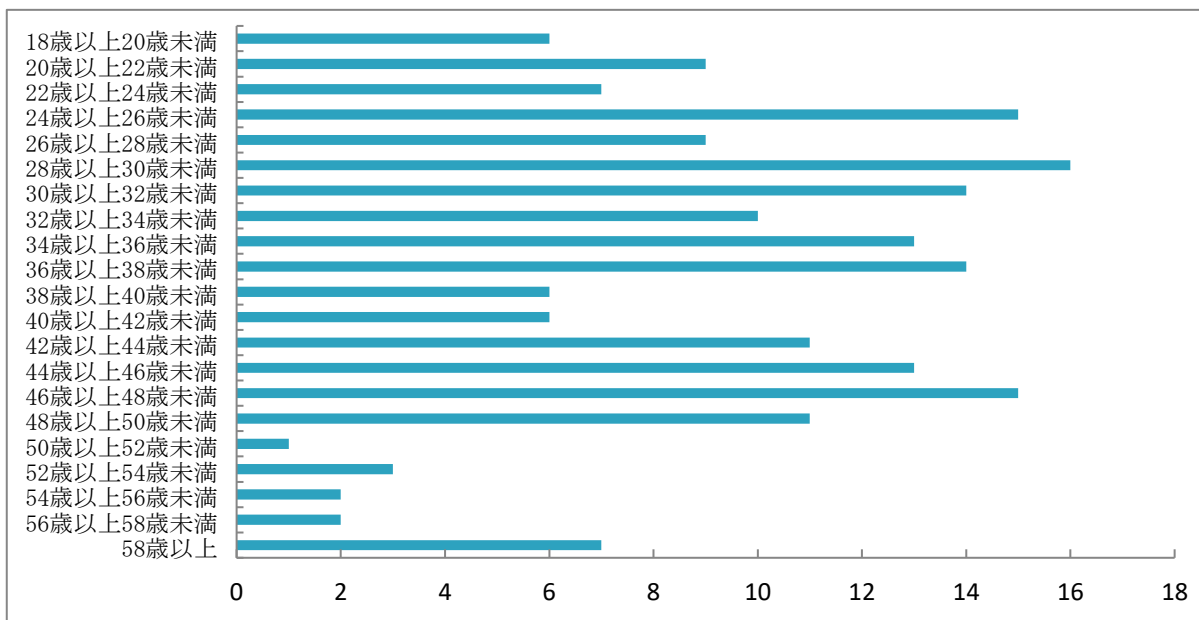
※ 職員数には、再任用職員（2名）を含んでいます。

7 職員の年齢

(令和4年4月1日現在)

階級別 年齢別	総 数	消 防 吏 員							事 務 職 員
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
18歳以上20歳未満	6							6	
20歳以上22歳未満	9							9	
22歳以上24歳未満	7							7	
24歳以上26歳未満	15						2	13	
26歳以上28歳未満	9						8	1	
28歳以上30歳未満	16					7	9		
30歳以上32歳未満	14					12	2		
32歳以上34歳未満	10					9	1		
34歳以上36歳未満	13				5	7	1		
36歳以上38歳未満	14				9	5			
38歳以上40歳未満	6				3	2			1
40歳以上42歳未満	6				5	1			
42歳以上44歳未満	11				11				
44歳以上46歳未満	13				13				
46歳以上48歳未満	15			3	10	1			1
48歳以上50歳未満	11			5	5	1			
50歳以上52歳未満	1				1				
52歳以上54歳未満	3			1		1			1
54歳以上56歳未満	2		1	1					
56歳以上58歳未満	2	1	1						
58歳以上	7		1	4		2			
合 計	190	1	3	14	62	48	23	36	3

※ 職員数には、再任用職員（2名）を含んでいます。



8 職員の任用状況

区 分 年 度	条 例 定 数	職 員 数	採 用	退 職	再 任 用	任 消 防 監	任 消 防 司 令 長	任 消 防 司 令	任 消 防 司 令 補	任 消 防 士 長	任 消 防 副 士 長	任 消 防 士
平成24年度	204	191	10	9		1			2	1	3	10
平成25年度	204	190	9	11			1		6	2	8	9
平成26年度	204	187	8	11			1		6	4	6	8
平成27年度	204	185	9	14			2	1	4	5	10	9
平成28年度	204	183	12	12		1		1	4	5	7	12
平成29年度	204	184	13	5		1	1	4	12	9	6	13
平成30年度	204	186	6	4	1		1	1	5	10	5	6
平成31年度	204	189	6	2	2	1		1	3	7	7	6
令和2年度	204	193	5	6	3		1	1	5	4	10	5
令和3年度	204	190	4	3	2	1	1	4	3	6	7	4
令和4年度	204	190	3		2			3	7	8	6	3

9 消防学校等への入校状況

(令和3年度分)

学 校 名	研 修 科 目	期 間	人 員
兵庫県消防学校	初任教育	6ヶ月間	4名
	専科教育 予防査察科	10日間	1名
	火災調査科	10日間	2名
	救急科	38日間	4名
	救助科	22日間	1名
	幹部教育 初級幹部科	10日間	1名
	特別教育 災害現場指揮科	3日間	1名
	潜水科	5日間	1名
	通信指令科	5日間	2名
	救急救命士教育 救急救命士養成課程	7ヶ月間	2名
	指導救命士養成研修	12日間	1名
	研修 山岳救助器具取扱技術研修	3日間	1名

10 消防吏員の資格免許等取得現況

(令和4年4月1日現在)

資格免許別	取得者数
自動車運転免許 普通	14
準中型(5t限定)	
準中型	1
中型(8t限定)	32
中型	17
大型	124
けん引	4
大型特殊	3
自動二輪(大・普通・小)	125
無線従事者 陸上特種無線技士	185
危険物取扱者 甲種	4
乙種 第1類	1
乙種 第2類	4
乙種 第3類	7
乙種 第4類	75
乙種 第5類	6
乙種 第6類	8
丙種	17
消防設備士 甲種 特類	1
甲種 第1類	2
甲種 第2類	1
甲種 第3類	1
甲種 第4類	5
甲種 第5類	1
乙種 第1類	2
乙種 第2類	
乙種 第3類	
乙種 第4類	2
乙種 第5類	1
乙種 第6類	22
乙種 第7類	1

資格免許別	取得者数
救急救命士	57
予防技術資格者(防火査察)	50
(消防用設備等)	25
(危険物)	15
衛生管理者 (第1種、第2種)	3
安全衛生推進者	45
自動車整備士 (一級、二級、三級)	2
電気工事士 (1種、2種)	3
小型船舶操縦士 (1級、2級)	46
潜水士	33
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	41
毒物劇物取扱者	2
ガス溶接技能者	22
アーク溶接技能者	1
玉掛技能者	35
小型移動式クレーン運転技能者	18

11 予算の推移

歳 入

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令 和 2 年 度		令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
		構成比率		構成比率		構成比率
分 担 金 及 び 負 担 金	1,857,840	80.9%	1,865,966	91.8%	1,904,634	94.5%
使 用 料 及 び 手 数 料	2,005	0.1%	1,755	0.1%	1,755	0.1%
国 庫 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
財 産 収 入	1,471	0.1%	2,801	0.1%	832	0.0%
繰 入 金	0	0.0%	6,100	0.3%	0	0.0%
繰 越 金	1	0.0%	1	0.0%	1	0.0%
諸 収 入	15,695	0.7%	15,580	0.8%	20,818	1.0%
組 合 債	419,000	18.2%	141,100	6.9%	88,400	4.4%
合 計	2,296,012	100.0%	2,033,303	100.0%	2,016,440	100.0%

歳 出

(単位：千円)

区 分 \ 年 度	令 和 2 年 度		令 和 3 年 度		令 和 4 年 度	
		構成比率		構成比率		構成比率
議 会 費	212	0.0%	212	0.0%	212	0.0%
総 務 費	774	0.0%	1,154	0.1%	690	0.0%
消 防 費	2,041,693	88.9%	1,751,780	86.2%	1,712,726	84.9%
公 債 費	251,333	10.9%	278,157	13.7%	300,812	14.9%
予 備 費	2,000	0.1%	2,000	0.1%	2,000	0.1%
合 計	2,296,012	100.0%	2,033,303	100.0%	2,016,440	100.0%

警 防



1 消防車両等の現況

(令和4年4月1日現在)

区分 署所	合計	普通消防ポンプ自動車	ポンプ付救助車	化学消防ポンプ自動車	屈折はしこ付消防自動車	救助工作車	救急自動車	指揮車	警防車	支援車	資機材搬送車	小型動力ポンプ積載車	連絡車	査察車	総務連絡車	予防連絡車	防火指導車
消防本部	5								1					1	2	1	
洲本消防署	12	3		1	1	1	2	1		1	1						1
津名一宮分署	4	1					1					1	1				
岩屋分署	4	2					1						1				
南淡分署	4	1	1				1						1				
由良出張所	2						1					1					
五色出張所	3	1					1						1				
北淡出張所	3	1					1						1				
西淡出張所	3	1					1						1				
合計	40	10	1	1	1	1	9	1	1	1	1	2	6	1	2	1	1

経過年数	3年未満	8	4		1		2				1						
	6年未満	8	1	1		1	4								1		
	9年未満	4	2				2										
	12年未満	3	1				1										1
	15年未満	4										1	3				
	18年未満	7		1						1			3		1	1	
	21年未満	6	2					1	1			1		1			
	21年以上																

2 消防機器の現況

(令和4年4月1日現在)

区 分	車両番号	種 別	車 名	年 式	ポンプ
消 防 本 部	神戸800す2309	査 察 車	ニッサン	H15. 1	
	神戸301な3408	総 務 連 絡 車 (旧)	トヨタ	H17. 5	
	神戸303つ6731	総 務 連 絡 車 (新)	トヨタ	H29. 3	
	神戸533の 119	予 防 連 絡 車	トヨタ	H16. 6	
	神戸831た 119	警 防 車	ニッサン	H16. 2	
洲 本 消 防 署	神戸800す3996	指 揮 車	ニッサン	H15. 11	
	神戸800ち3129	普通消防ポンプ自動車	日 野	R3. 7	A 2
	神戸800そ4654	普通消防ポンプ自動車	トヨタ	H28. 2	A 2
	神戸800さ9574	普通消防ポンプ自動車	日 野	H13. 11	A 2
	神戸800は4278	屈折はしご付消防自動車	日 野	R2. 4	
	神戸800は3499	化学消防ポンプ自動車	日 野	H29. 2	A 2
	神戸830さ1966	救 助 工 作 車	日 野	H30. 2	
	神戸800す5340	支 援 車	ニッサン	H16. 6	
	神戸800そ9221	資 機 材 搬 送 車	トヨタ	H31. 3	
	神戸800そ 475	救 急 自 動 車	トヨタ	H25. 1	(高規格)
	神戸800そ3435	救 急 自 動 車	トヨタ	H27. 3	(高規格)
	神戸483す 119	防 火 指 導 車	ダイハツ	H22. 10	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	H14. 8	B 3
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	H28. 2	B 3
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	H31. 2	B 3
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H22. 6	B 3
		可搬式小型動力ポンプ	ラビット	H13. 11	C 1
津 名 一 宮 分 署	神戸800そ2136	普通消防ポンプ自動車	日 野	H26. 3	A 2
	神戸800せ5039	小型動力ポンプ積載車	日 野	H21. 3	
	神戸800ち2256	救 急 自 動 車	トヨタ	R3. 1	(高規格)
	神戸880あ1572	連 絡 車	ダイハツ	H21. 9	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H21. 3	B 2
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H26. 3	B 3
岩 屋 分 署	神戸800そ2137	普通消防ポンプ自動車	日 野	H26. 3	A 2
	神戸800す1779	普通消防ポンプ自動車	日 野	H14. 11	A 2
	神戸800そ7380	救 急 自 動 車	トヨタ	H29. 12	(高規格)
	神戸880あ 969	連 絡 車	ダイハツ	H20. 2	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H26. 3	B 3
南 淡 分 署	神戸800せ9040	普通消防ポンプ自動車	日 野	H24. 1	A 2
	神戸800せ1703	ポ ン プ 付 救 助 車	日 野	H19. 3	A 2
	神戸830も 12	救 急 自 動 車	トヨタ	H28. 12	(高規格)
	神戸880あ1573	連 絡 車	ダイハツ	H21. 9	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H24. 1	B 3
由 良 出 張 所	神戸800す3881	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	H15. 10	
	神戸800そ8556	救 急 自 動 車	トヨタ	H30. 10	(高規格)
		可搬式小型動力ポンプ	ラビット	H15. 3	C 1
		可搬式小型動力ポンプ	シバウラ	H15. 10	B 3
五 色 出 張 所	神戸800ち3128	普通消防ポンプ自動車	日 野	R3. 7	A 2
	神戸800そ4740	救 急 自 動 車	トヨタ	H28. 2	(高規格)
	神戸880あ 641	連 絡 車	スズキ	H19. 2	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	R3. 7	B 3
北 淡 出 張 所	神戸800ち 982	普通消防ポンプ自動車	日 野	R 2. 3	A 2
	神戸800ち 592	救 急 自 動 車	トヨタ	R 2. 1	(高規格)
	神戸880あ 644	連 絡 車	スズキ	H19. 2	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	R 2. 1	B 3
西 淡 出 張 所	神戸800そ9167	普通消防ポンプ自動車	日 野	H31. 2	A 2
	神戸800そ5828	救 急 自 動 車	トヨタ	H28. 12	(高規格)
	神戸880あ 643	連 絡 車	スズキ	H19. 2	軽四輪
		可搬式小型動力ポンプ	トーハツ	H31. 2	B 3

3 特殊装備資機材の現況

(令和4年4月1日現在)

区分	装 備 名	数量	区分	装 備 名	数量
放水用器具	水幕ホース	5	隊員保護用器具	耐電手袋	30
	ラインプロポーションナー	2		耐電衣	4
	泡管鎗 (400型)	2		耐電ズボン	4
	ピックアップノズル (200型)	5		耐電長靴	6
	プロパック	3		携帯警報器	48
	ジェットシューター	53		陽圧式化学防護服	4
	ウォーターチャージャー	1		耐熱服	2
	A火災用泡消火薬剤	48		放射線防護服	2
	B火災用泡消火薬剤	175		防毒マスク	34
	林野火災用泡消火薬剤	58			
一般救助用器具			水難救助用器具	潜水器具	8
	かぎ付はしご	3		救命胴衣	89
	三連はしご	4		救命ボート	9
	二連はしご	10		船外機	1
	空気式救助マット	1	高度救助用器具	画像探査器	1
	救命索発射装置	1		熱画像直視装置	3
	ワイヤーはしご	1		夜間用暗視装置	1
重量物排除用器具					
	可搬ウィンチ	6	のそ器の具他	G P S レシーバー	1
	マンホール救助器具	2		発電機	20
	救助用簡易起重機	2		光学距離測定器	5
	マット型空気ジャッキ	2			
	大型油圧スプレッダー	2	救急用器具	自動体外式除細動器	13
	電動油圧スプレッダー	1		患者監視装置	9
	ポートパワー	1		気道確保用資器材	10
	電動コンビツール	2		輸液用資器材	8
切断用・破壊用器具	エンジンカッター	4		殺菌装置 (E O G)	5
	ガス溶断器	1		オートクレープ (滅菌器)	4
	チェーンソー	11		オゾンガス除染装置一式	3
	鉄線カッター	27		オゾン水生成機	4
	大型油圧切断機	2		気道管理トレーナー	2
	電動油圧切断機	1		静脈注射モデル	6
	エアーツール	1		高度救命処置人形	5
	電気鋸	3		心肺蘇生訓練用人形	49
	万能斧	32			
	削岩機	2			
	ハンマードリル	1			
	携帯用コンクリート破壊器具	2	国民保護関連	トリアージシート (セット)	4
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		エアータント	1
				除染シャワー用テント	1
呼吸器保護用器具	空気呼吸器	48		除染シャワー用温水器	1
	酸素呼吸器	2		除染シャワー用汚水槽	2
	簡易呼吸器	2		NBC災害用防護服 (レベルA)	4
	送排風機	7		NBC災害用防護服 (レベルB)	47
測定用器具				NBC災害用防護服 (レベルC)	445
	可燃性ガス測定器	9		NBC災害用手袋	47
	酸素濃度測定器	9		NBC災害用ブーツカバー	186
	有毒ガス測定器	9		特定小電力トランシーバー	23
	放射線測定器	1		個人線量計 (ポケット線量計)	15
				ガンマ線及びエックス線用線量率計	5

予 防



1 防火対象物の現況

(棟別：150㎡以上（17項を除く）)

別表用途			構 成 市	洲 本 市	南あわじ市	淡 路 市	合 計
1	イ	劇場、映画館、演劇場又は観覧場		4	2	6	12
	ロ	公会堂又は集会場		76	99	71	246
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール		2		4	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合、料理店等					
	ロ	飲食店		32	29	62	123
4		百貨店、マーケット等店舗又は展示場		60	83	81	224
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等		61	67	74	202
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		399	225	271	895
6	イ	病院、診療所又は助産所		24	25	20	69
	ロ	老人短期入所施設等		17	18	18	53
	ハ	老人デイサービスセンター等		43	43	45	131
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		10	4		14
7		小・中・高等学校、大学、各種学校等		68	71	65	204
8		図書館、博物館、美術館等		3	5	12	20
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場		4	5	5	14
10		車両の停車場又は船舶等の発着場		1	4	3	8
11		神社、寺院、教会等		47	49	27	123
12	イ	工場又は作業場		221	346	296	863
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			1		1
13	イ	自動車庫又は駐車場		42	20	12	74
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14		倉庫		130	247	145	522
15		前各項に該当しない事業場		208	234	250	692
16	イ	複合用途防火対象物（一部特定防火対象物）		151	119	143	413
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物		56	30	64	150
6の2		地下街					
6の3		準地下街					
17		重要文化財等		3	3	2	8
18		延長50メートル以上のアーケード		3			3
19		市町村長の指定する山林					
20		総務省令で定める舟車					
合 計				1,665	1,729	1,676	5,070

2 防火対象物の立入検査実施状況

月 別 別表用途		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
1	イ 劇場、映画館、演劇場又は観覧場													
	ロ 公会堂又は集会場	1		2	1							1		5
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等													
	ロ 遊技場又はダンスホール				13								2	15
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ カラオケボックス等													
3	イ 待合、料理店等					1								1
	ロ 飲食店	2	1	3	23		3	2	2	1	2		2	41
4	百貨店、マーケット等店舗又は展示場		2	3	1		1	1	1	1	1		2	13
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	8	5	7	19	11	11	11	7	18	3	7	3	110
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	1						1	1	1	2		5	11
6	イ 病院、診療所又は助産所	1						1				1	1	4
	ロ 老人短期入所施設等			1							3	2	3	9
	ハ 老人デイサービスセンター等		1		2	2	1	2			18	18	6	50
	ニ 幼稚園又は特別支援学校										2		1	3
7	小・中・高等学校、大学、各種学校等	2		7	2				8	2		14	1	36
8	図書館、博物館、美術館等											1	2	3
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等													
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場											1		1
10	車両の停車場又は船舶等の発着場													
11	神社、寺院、教会等	6	1											7
12	イ 工場又は作業場		3	5	1	2	2	3	1		13	2	2	34
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ													
13	イ 自動車車庫又は駐車場			1		1								2
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
14	倉庫	1	1	6	1		1	3			2	5	1	21
15	前各項に該当しない事業場	5	2	6	5	1	1	4	5	1	2	3	2	37
16	イ 複合用途防火対象物（一部特定防火対象物）	3	2	6	7	5	9	13	5	1	8	11	9	79
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物			2							1	1		4
16の2	地下街													
16の3	準地下街													
17	重要文化財等		1											1
18	延長50メートル以上のアーケード													
19	市町村長の指定する山林													
20	総務省令で定める舟車													
合 計		30	19	49	75	23	29	41	30	25	57	67	42	487

3 火災予防条例届出の処理状況

月 別 届出事項	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
喫煙・裸火使用・危険物 品持込み承認申請										1			1
防火対象物使用開始届出	12	10	18	17	10	12	22	4	10	16	18	10	159
炉・厨房設備・温風暖房 機・ボイラー・給湯湯沸 設備・乾燥設備・サウナ 設備・ヒートポンプ冷暖 房機・火花を生ずる設 備・放電加工機設置届出	3	4	3	2	3	3	4	2	4	7	1	3	39
燃料電池発電・発電・変 電・蓄電池設備設置届出	4	6	11	4	4	9	5	3	8	6	7	5	72
ネオン管灯設備設置届出													
水素ガスを充てんする気 球の設置届出													
火災とまぎらわしい煙又 は火炎を発するおそれの ある行為の届出	38	51	40	24	19	14	54	28	19	27	41	33	388
煙火打上げ・仕掛け届出				2			5	1	4	6	1		19
催 物 開 催 届 出													
水 道 断 減 水 届 出										2		1	3
道 路 工 事 届 出	15	18	15	16	5	8	7	9	15	23	14	17	162
指定数量未満の危険物等 の届出	3	6		1		2	3		3	2	3	2	25
放射性物質等貯蔵・取扱 ・廃止届出													
消 防 用 設 備 業 届 出				1	1	3			1				6
露 店 等 の 開 設 届 出 書	6		4	1		1	2		5	6	2	5	32
合 計	81	95	91	68	42	52	102	47	69	96	87	76	906

4 工事整備対象設備等着工届及び工事計画届の受理状況

設 備 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
屋 内 消 火 栓 設 備		1		2		1		1				1	6
スプリンクラー 設 備			1						1	1	1		4
水 噴 霧 消 火 設 備													
泡 消 火 設 備													
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備													
ハロゲン化物消火設備												1	1
粉 末 消 火 設 備													
屋 外 消 火 栓 設 備	1												1
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備											1		1
自 動 火 災 報 知 設 備	3	6	4	6	4	4	12	4	5	8	5	7	68
ガス漏れ火災警報設備													
漏 電 火 災 警 報 器													
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	4	1	1	1	1	1	1			1			11
非 常 警 報 設 備	1	5	1		1	1		3			3		15
放 送 設 備			1			1			2		2	1	7
避 難 器 具	1				1	3		2	2		2	1	12
誘 導 灯	7	14	9	12	7	15	14	6	9	9	8	5	115
消 防 用 水													
排 煙 設 備											1		1
連 結 送 水 管													
非 常 コ ン セ ン ト 設 備													
連 結 散 水 設 備													
無 線 通 信 補 助 設 備													
総 合 操 作 盤	2												2
パッケージ型消火設備													
パッケージ型自動消火設備													
令第29条の4第1項の設備	4	4	3	7	3	9	4	3	3	4	1	1	46
特 殊 消 防 用 設 備 等													
合 計	23	31	20	28	17	35	31	19	22	23	24	17	290

5 建築確認申請の同意処理状況

構成市 \ 工事別	新 築	増 築	用途変更	その他	合 計
洲 本 市	29		2	9	40
南 あ わ じ 市	46	4		10	60
淡 路 市	77	4	3	23	107
合 計	152	8	5	42	207

6 危険物施設の現況

構成市 区 分		洲 本 市	南あわじ市	淡 路 市	合 計
製 造 所		0	0	0	0
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	14	11	14	39
	屋外タンク貯蔵所	24	58	52	134
	屋内タンク貯蔵所	6	5	4	15
	地下タンク貯蔵所	23	35	37	95
	簡易タンク貯蔵所	1	0	0	1
	移動タンク貯蔵所	17	45	37	99
	屋 外 貯 蔵 所	1	3	14	18
	小 計	86	157	158	401
取 扱 所	給 油 取 扱 所	34	44	32	110
	一 般 取 扱 所	13	34	29	76
	第1種販売取扱所	1	0	0	1
	第2種販売取扱所	0	0	0	0
	移 送 取 扱 所	0	1	0	1
	小 計	48	79	61	188
合 計		134	236	219	589

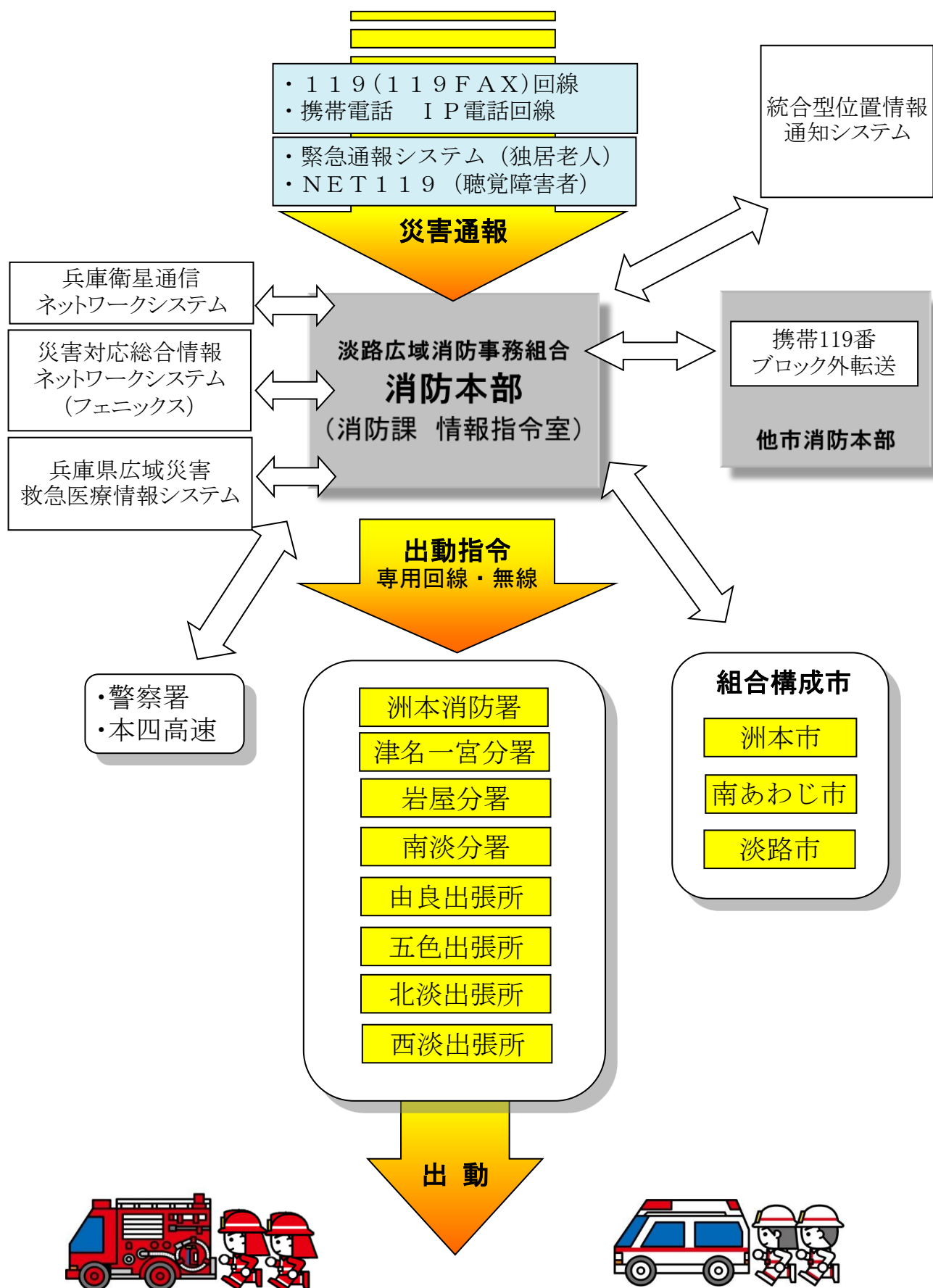
7 危険物関係の許認可状況

種 別 \ 月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
設 置 許 可	1					1	1		1	2	2		8
変 更 許 可	4	3	3	2		1	4	4	2	1	1	2	27
仮 使 用	4	3	2	1		1	3	3	2	1	1	2	23
完 成 検 査					1	1	2	4	5	1	1	2	17
仮貯蔵・仮取扱	2	1		1	1				1		1		7
合 計	11	7	5	4	2	4	10	11	11	5	6	6	82

指令



1 消防通信系統図



2 無線機の整備状況

令和4年4月1日現在

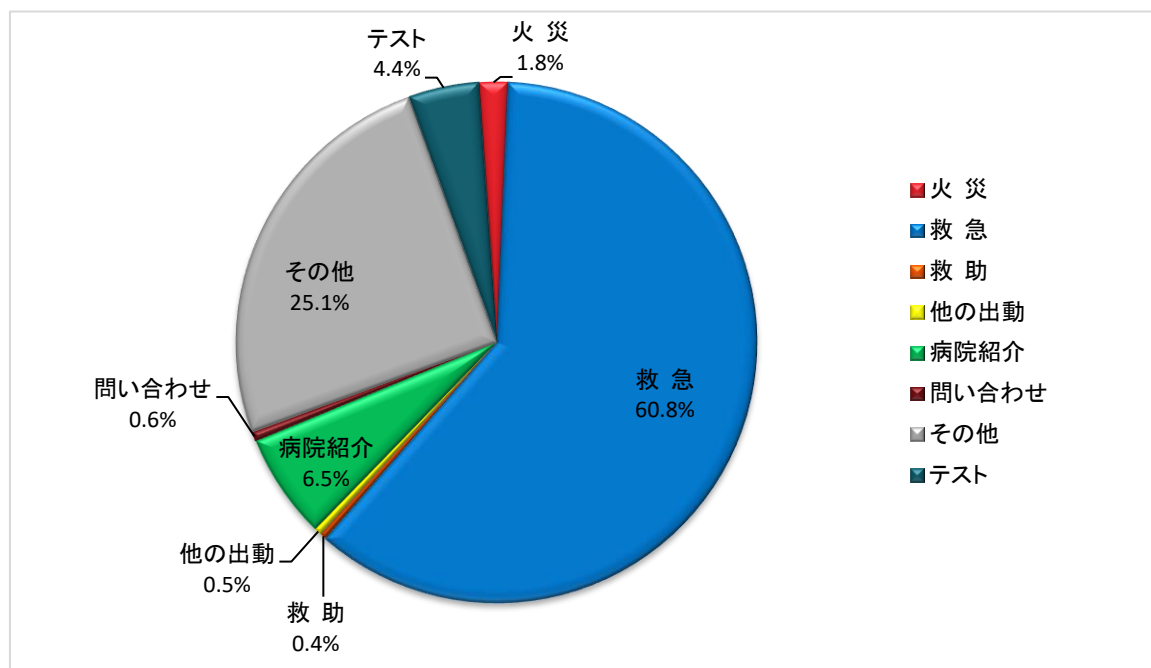
無線局の種別 署所別	合 計	基地局	移動局	うち 車載型	うち 携帯型	うち 卓上型 可搬型	署活系 (400MHz帯)	携帯型 (150MHz帯)
消防本部・洲本消防署	43	1	20	11	8	1	20	2
津 名 一 宮 分 署	17	1	7	3	4		7	2
岩 屋 分 署	16	1	7	3	4		6	2
南 淡 分 署	19	1	7	3	4		9	2
由 良 出 張 所	10	1	4	2	2		3	2
五 色 出 張 所	11	1	4	2	2		4	2
北 淡 出 張 所	11	1	4	2	2		4	2
西 淡 出 張 所	11		5	2	2	1	4	2
大鳴門橋記念館	1	1						
合 計	139	8	58	28	28	2	57	16

3 無線機実装波数の整備状況

令和4年4月1日現在

無線局の種別 周波数別	合計	基地局	移動局	うち 車載型	うち 携帯型	うち 卓上型 可搬型	署活系 (400MHz帯)	携帯型 (150MHz帯)
活 動 波 1	66	8	58	28	28	2		
活 動 波 2	66	8	58	28	28	2		
活 動 波 3	62	4	58	28	28	2		
主 運 用 波	63	5	58	28	28	2		
統 制 波	60	2	58	28	28	2		
署 活 波	57						57	
県 波	57						57	
防 災 相 互 波	73						57	16

4 119番の受信状況



区 分	火 災	救 急	救 助	他の出動	病院紹介	問い合わせ	その他	テスト	合 計
受信数	154	5,224	33	40	562	51	2,157	376	8,597
割 合	1.8%	60.8%	0.4%	0.5%	6.5%	0.6%	25.1%	4.4%	100.0%

※ その他には、いたずら、間違い、訓練を含む。

※ 割合の数値は各項目で四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

5 緊急通報システム受信状況

種別 市別	登 録 者 数	緊急通報			う つ か り	相 談 ・ 話 相 手	停 電 ・ 電 池 切 れ 等	合 計	協 力 員 出 向 数
		搬 送	(医師の 自宅 往診等)	そ の 他					
洲本市	77	1	1	0	5	2	44	53	1
南あわじ市	101	0	0	0	4	1	11	16	0
淡路市	98	0	17	0	8	0	26	51	23
合 計	276	1	18	0	17	3	81	120	24

統計



1 火災統計

火 災 の 概 要

令和3年の火災件数は86件で、令和2年（以下「前年」という。）に比べると1件減少しました。

損害額は3億0,120万円で、前年に比べ1億7,913万1千円増加しています。

種別ごとの火災発生状況は、その他の火災が47件で全体の54.7%を占め、次いで建物火災が26件で30.2%、車両火災が7件で8.1%となっています。

出火原因別で見ると、枯草焼却火の拡大や飛火、放置によるものが38件（前年比3件減）で44.2%、次いでごみ焼却火が5件（前年比3件減）で全体の5.8%となっています。また、こんろが3件、たき火が2件、放火は8件でした。

これらの火災で、3人が死亡し3人が負傷、21世帯64人の方々が、り災されました。

また、覚知方法別については、携帯電話からの通報が最も多く64.0%、加入電話からの通報は18.6%でした。

－ 火災種別の説明 －

建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいいます。

林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいいます。

車両火災とは、自動車車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいいます。

船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいいます。

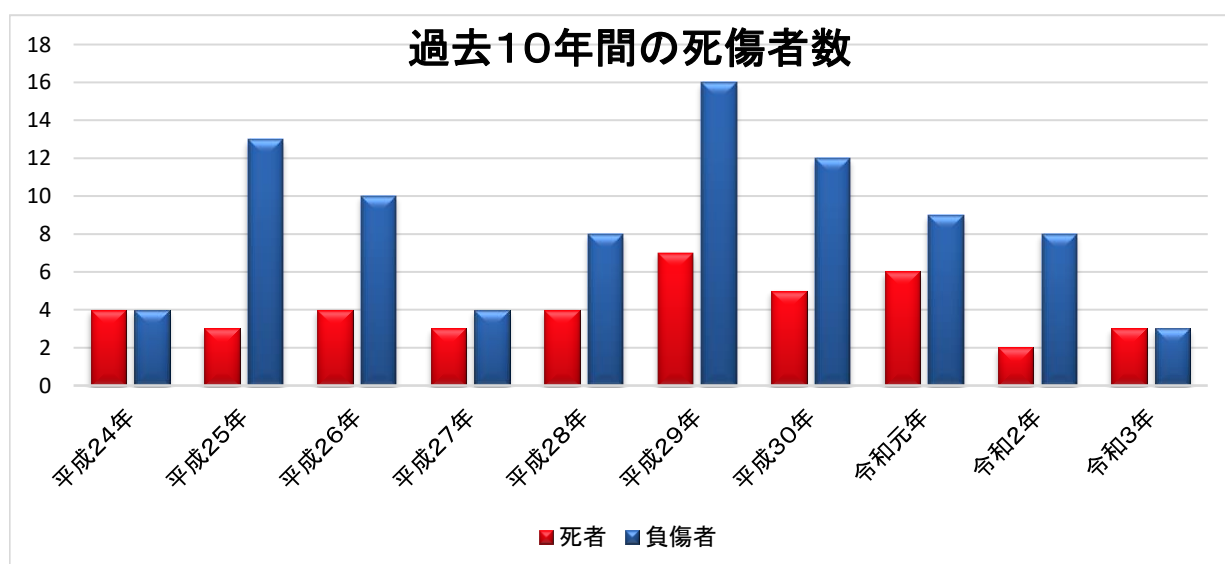
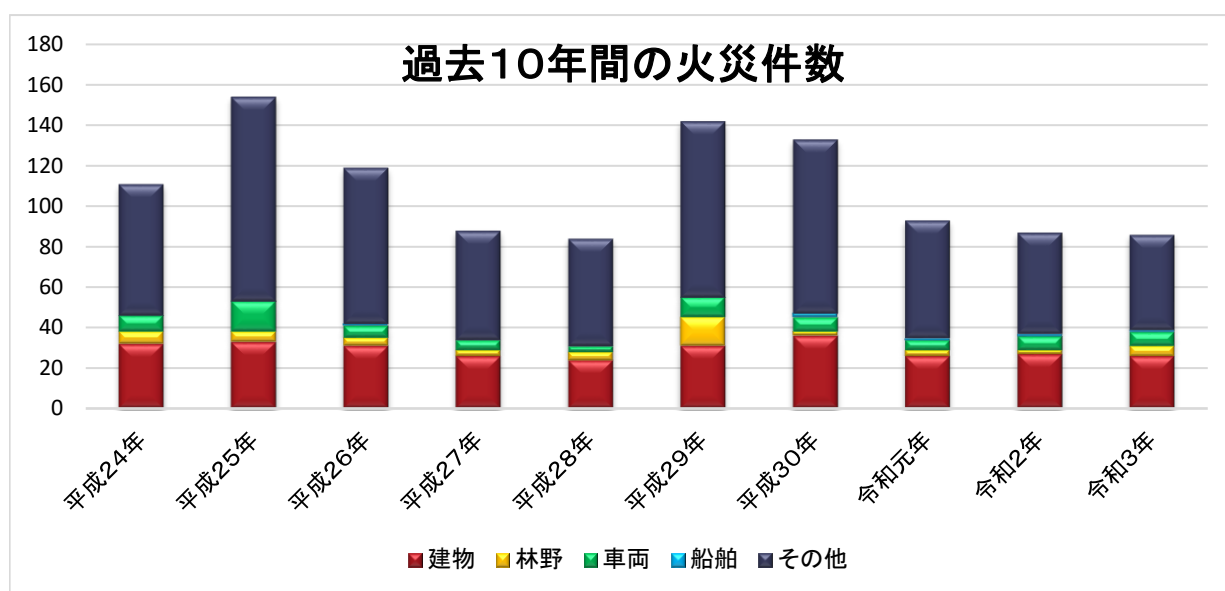
航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいいます。

その他の火災とは、上記に掲げる火災以外の火災をいいます。

（例えば、空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、電柱類等の火災）

(1) 火災発生状況の推移

区 分 年 別	火 災 件 数	火災種別					焼 損 棟 数	焼損面積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
平成24年	111	32	6	8		65	43	1,115	109	16	4	4	20	51	43,227
平成25年	154	33	5	15		101	43	1,622	100	40	3	13	19	44	117,695
平成26年	119	31	4	6	1	77	73	4,833	598	19	4	10	28	76	225,596
平成27年	88	26	3	5		54	55	2,594	192	9	3	4	16	34	155,089
平成28年	84	24	4	3		53	40	2,075	172	45	4	8	22	38	175,821
平成29年	142	31	14	10		87	60	2,638	312	47	7	16	39	73	185,884
平成30年	133	36	2	7	2	86	59	2,520	219	2	5	12	30	74	271,756
令和元年	93	26	3	5	1	58	53	2,548	237	72	6	9	19	45	190,894
令和2年	87	27	2	7	1	50	45	1,272	151	51	2	8	14	35	122,069
令和3年	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200

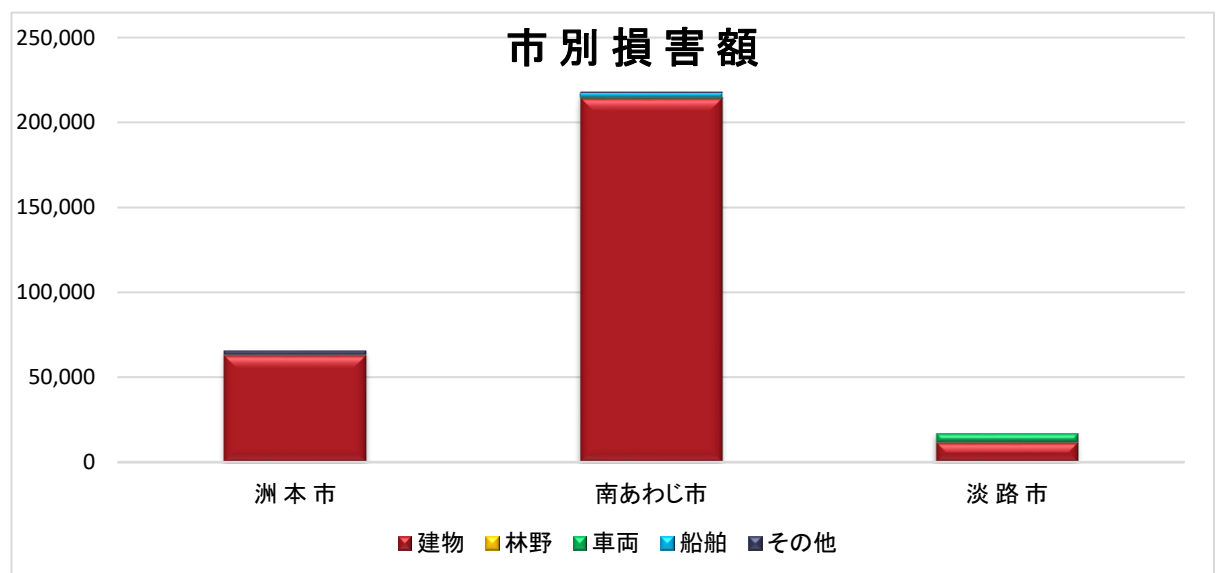
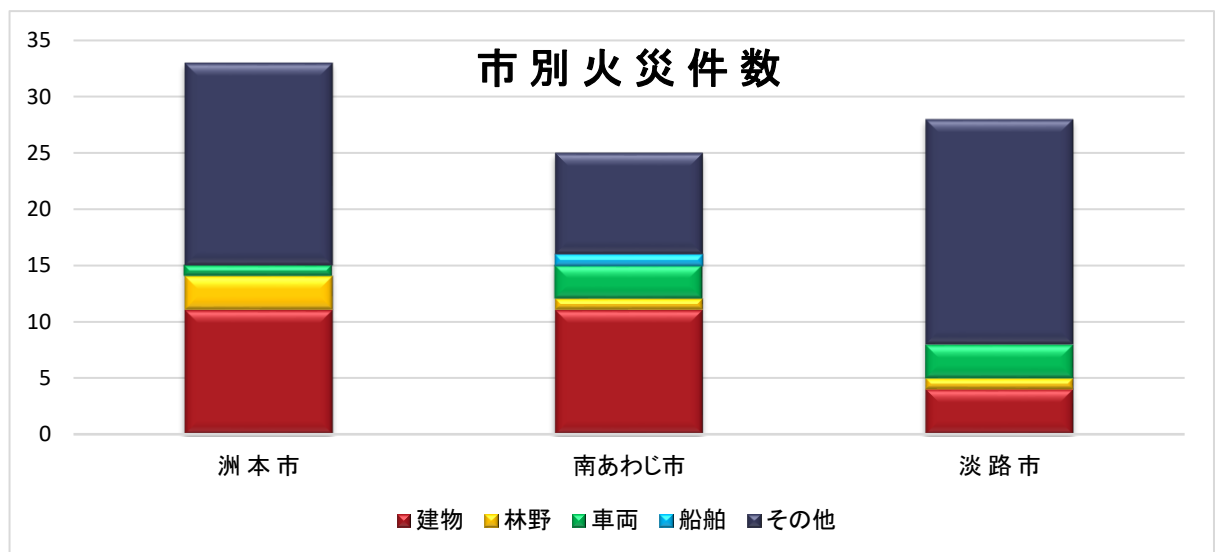


(2) 火災概況の前年比較

区 分	令和3年 (A)	令和2年 (B)	前 年 比 較	
			増 減 数 (A) - (B) = (C)	増減率(%) (C) / (B) × 100
火 災 件 数 (件)	86	87	△ 1	△ 1.1
建 物	26	27	△ 1	△ 3.7
林 野	5	2	3	150.0
車 両	7	7	0	0.0
船 舶	1	1	0	0.0
そ の 他	47	50	△ 3	△ 6.0
焼 損 棟 数 (棟)	48	45	3	6.7
全 焼	18	13	5	38.5
半 焼	5			
部 分 焼	16	17	△ 1	△ 5.9
ぼ や	9	15	△ 6	△ 40.0
焼損面積 建物床面積(㎡)	3,076	1,272	1,804	141.8
建物表面積(㎡)	232	151	81	53.6
林 野 (a)	25	51	△ 26	△ 51.0
死 者 (人)	3	2	1	50.0
負 傷 者 (人)	3	8	△ 5	△ 62.5
り災世帯数 (世帯)	21	14	7	50.0
全 損	7	4	3	75.0
半 損	2	2	0	0.0
小 損	12	8	4	50.0
り 災 人 員 (人)	64	35	29	82.9
損 害 額 (千円)	301,200	122,069	179,131	146.7
建 物	288,672	108,204	180,468	166.8
林 野	0	0		
車 両	6,889	9,198	△ 2,309	△ 25.1
船 舶	2,271	1,258	1,013	80.5
そ の 他	3,368	3,409	△ 41	△ 1.2
爆 発	0	0		
一件当りの損害額(千円)	3,502	1,403	2,099	149.6
出 火 率 (管 内)	6.5	6.6		

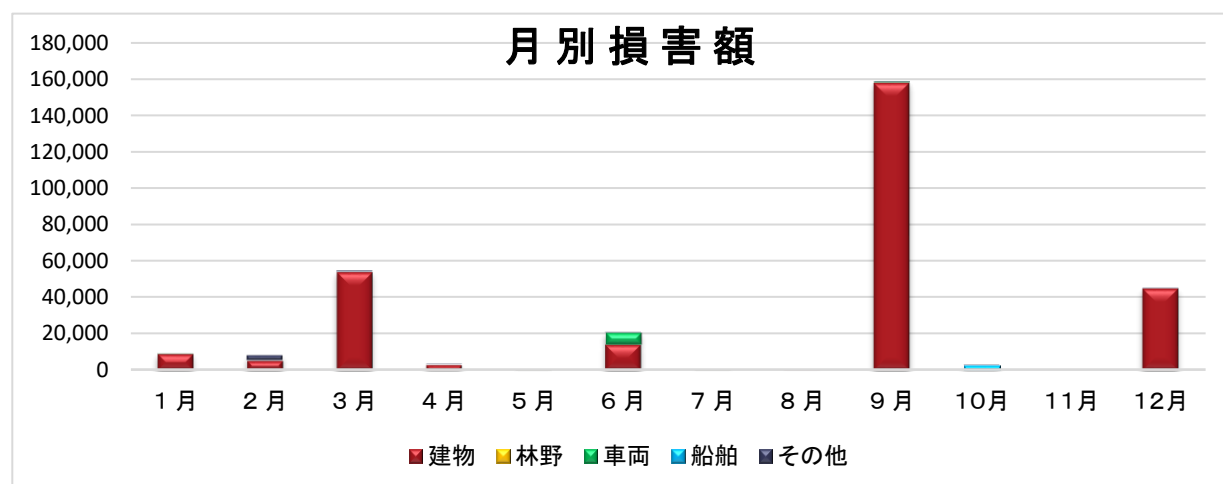
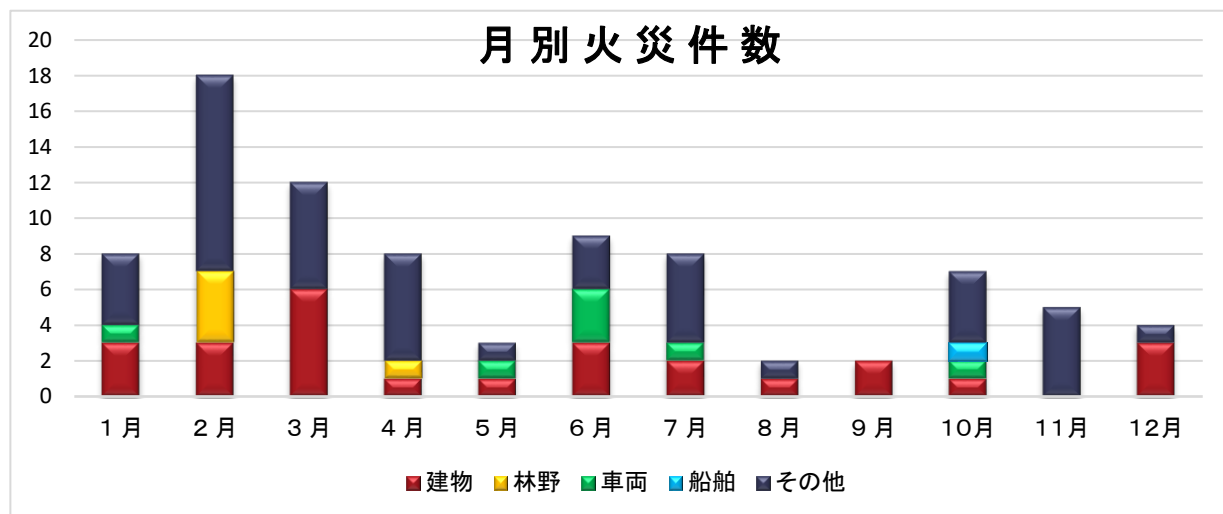
(3) 構成市別の火災発生状況

区 分 市町別	火 災 件 数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
洲 本 市	33	11	3	1		18	18	903	83	13	2		8	19	65,921
南あわじ市	25	11	1	3	1	9	25	1,778	146	5		2	10	38	218,133
淡 路 市	28	4	1	3		20	5	395	3	7	1	1	3	7	17,146
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200



(4) 月別の火災発生状況

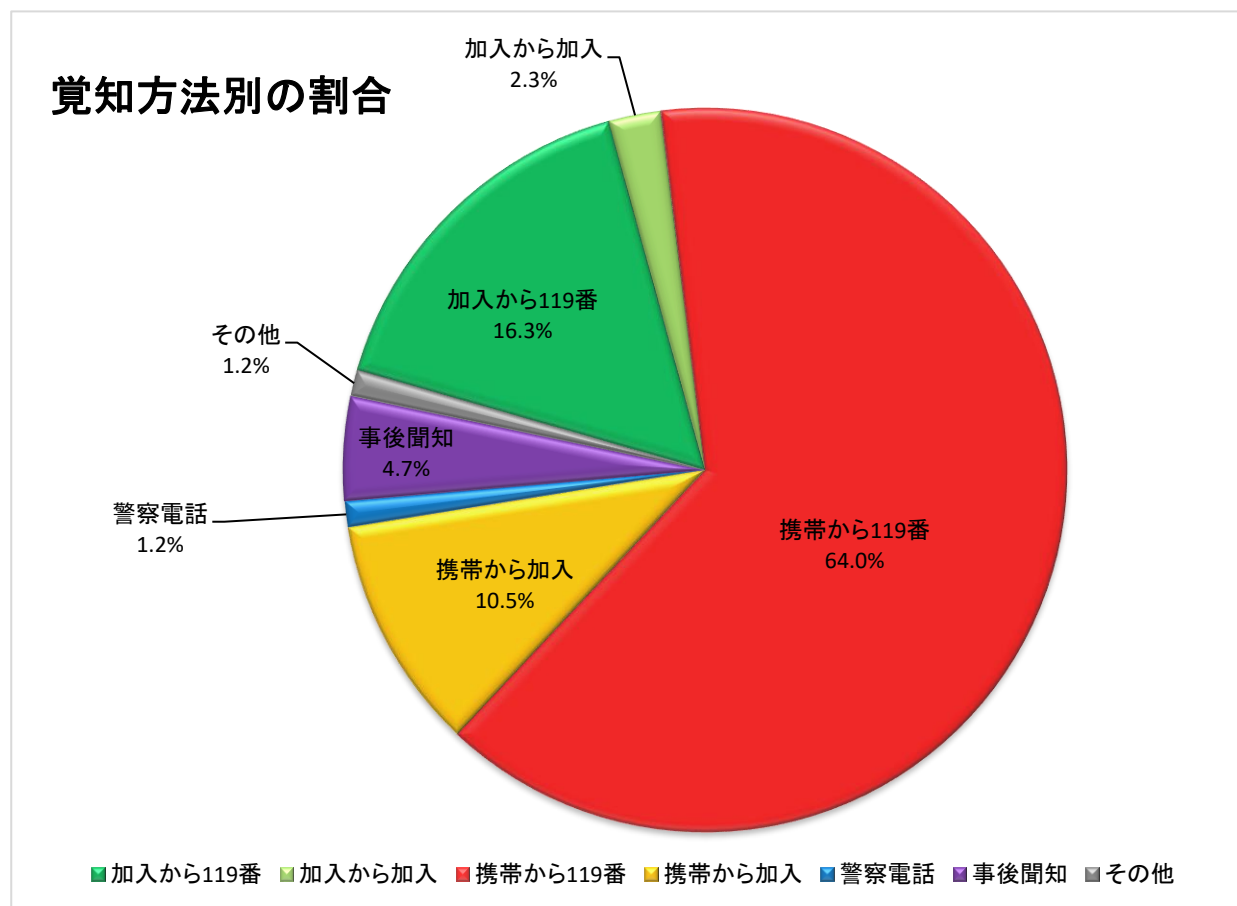
区 分 月 別	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
1 月	8	3		1		4	3	140	1			1	4	16	9,161
2 月	18	3	4			11	9	323	21	18					7,860
3 月	12	6				6	12	670	54		1		5	12	54,501
4 月	8	1	1			6	2	250		7					2,900
5 月	3	1		1		1	1		3		1		1	2	52
6 月	9	3		3		3	3	441	5		1	1			20,677
7 月	8	2		1		5	2		6				1	1	125
8 月	2	1				1	1		1				1	4	7
9 月	2	2					6	586	36				3	10	158,377
10月	7	1		1	1	4	1								2,434
11月	5					5									
12月	4	3				1	8	666	105			1	6	19	45,106
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200



(5) 覚知方法別の火災発生状況

区 分 覚知別	火 災 件 数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
加入から119番	14	6	1	1		6	12	713	77	7	1	1	4	15	22,191
加入から加入	2	1				1	1	41					1	2	10,558
携帯から119番	55	14	3	5	1	32	29	2,313	146	10	1	1	13	40	267,955
携帯から加入	9	2	1			6	3	9	4	8					116
警察電話	1					1									
駆け付け															
事後聞知	4	3		1			3		5		1	1	3	7	380
その他	1					1									
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200

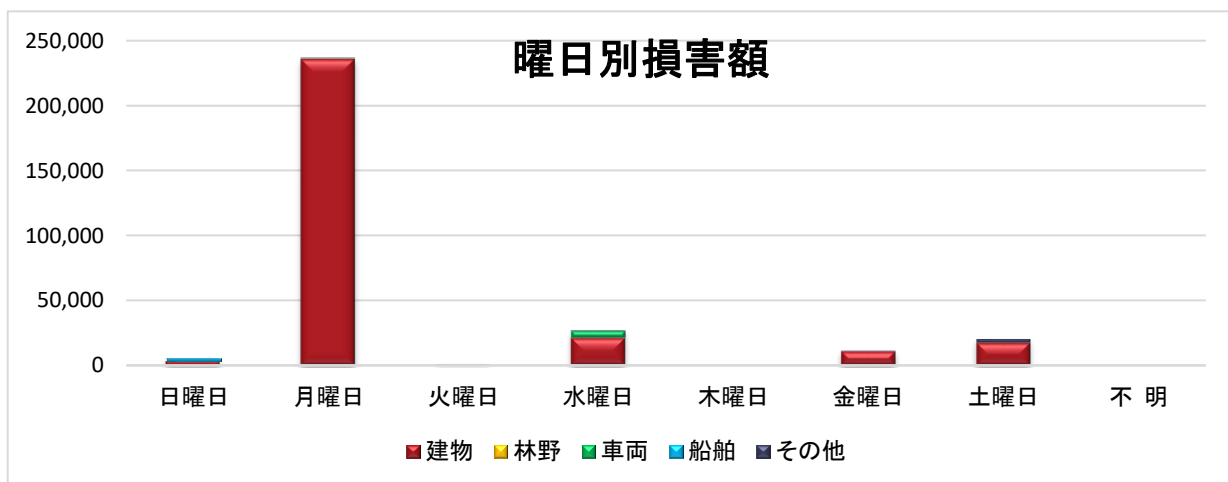
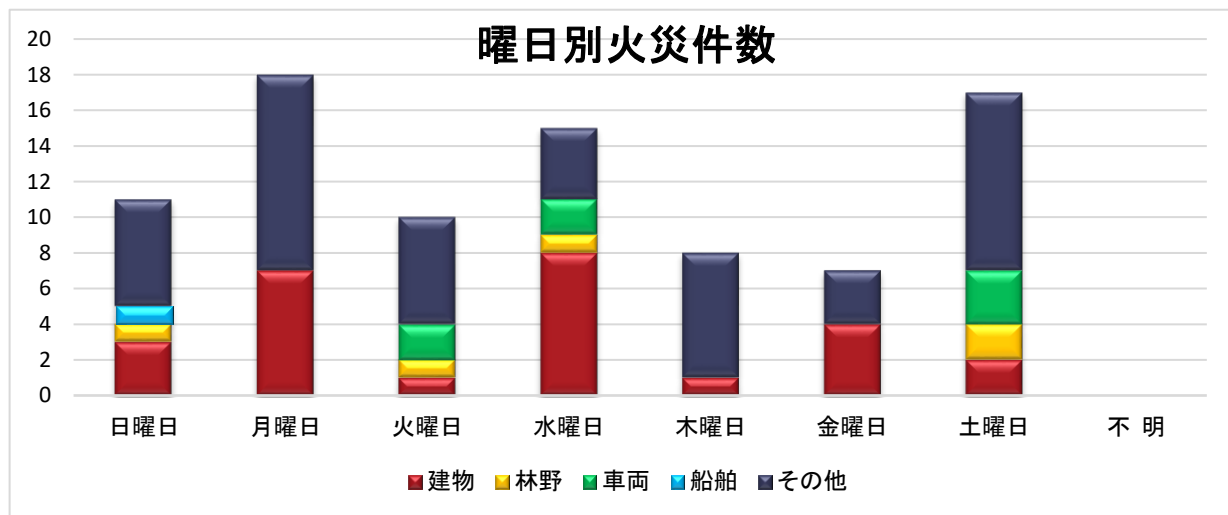
※ 加入は「加入電話」を、携帯は「携帯電話」をあらわします。



※ 割合の数値は各項目で四捨五入しているため、合算値が100.0%にならない場合があります。

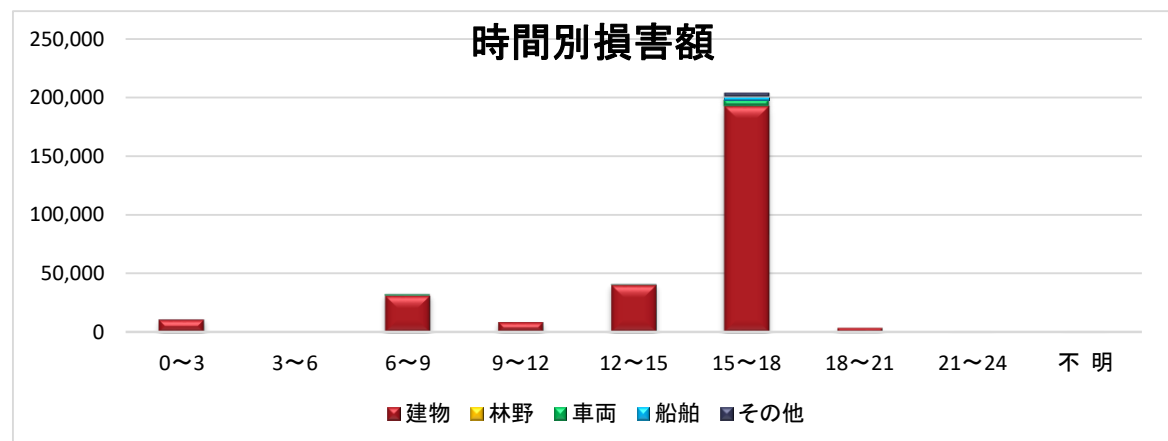
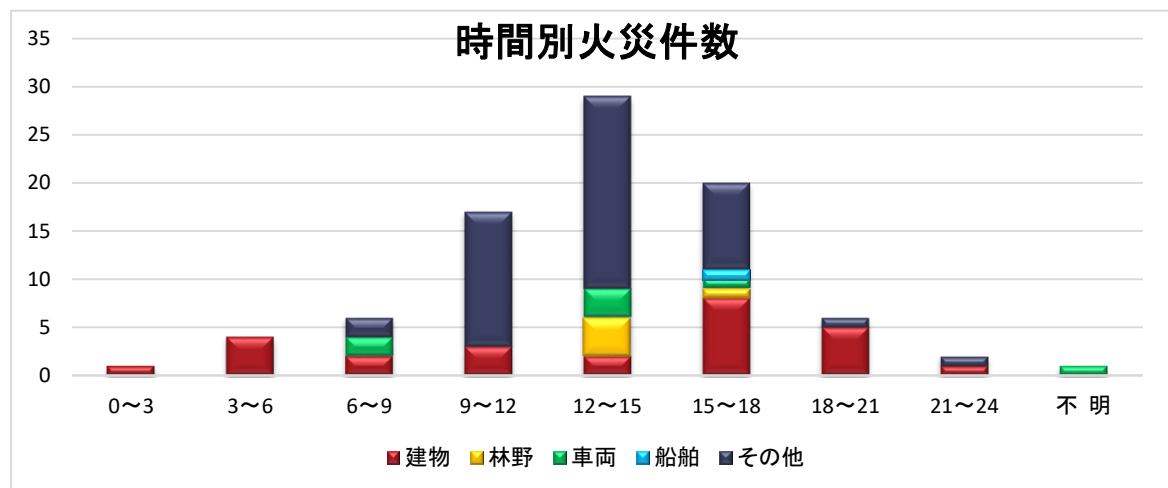
(6) 曜日別の火災発生状況

区 分 曜日別	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
日曜日	11	3	1		1	6	4	251	6	12		1	1	8	5,588
月曜日	18	7				11	15	1,688	106				8	22	236,093
火曜日	10	1	1	2		6	1		5	1	1				1,060
水曜日	15	8	1	2		4	17	679	58	4	1	1	5	13	27,140
木曜日	8	1				7	1								
金曜日	7	4				3	4	149					3	6	10,819
土曜日	17	2	2	3		10	6	309	57	8	1	1	4	15	20,500
不 明															
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200



(7) 時間別の火災発生状況

区 分 時間別	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
0～3	1	1					4	145	50		1		3	7	10,925
3～6	4	4					4	1	2			2	2	10	308
6～9	6	2		2		2	5	607	66	4	1		1	2	32,331
9～12	17	3				14	3	139	7				3	8	8,878
12～15	29	2	4	3		20	4	606		13			1	3	40,661
15～18	20	8	1	1	1	9	21	1,363	98	8			9	31	203,948
18～21	6	5				1	6	215	6			1	1	1	3,888
21～24	2	1				1	1		3				1	2	36
不 明	1			1							1				225
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200

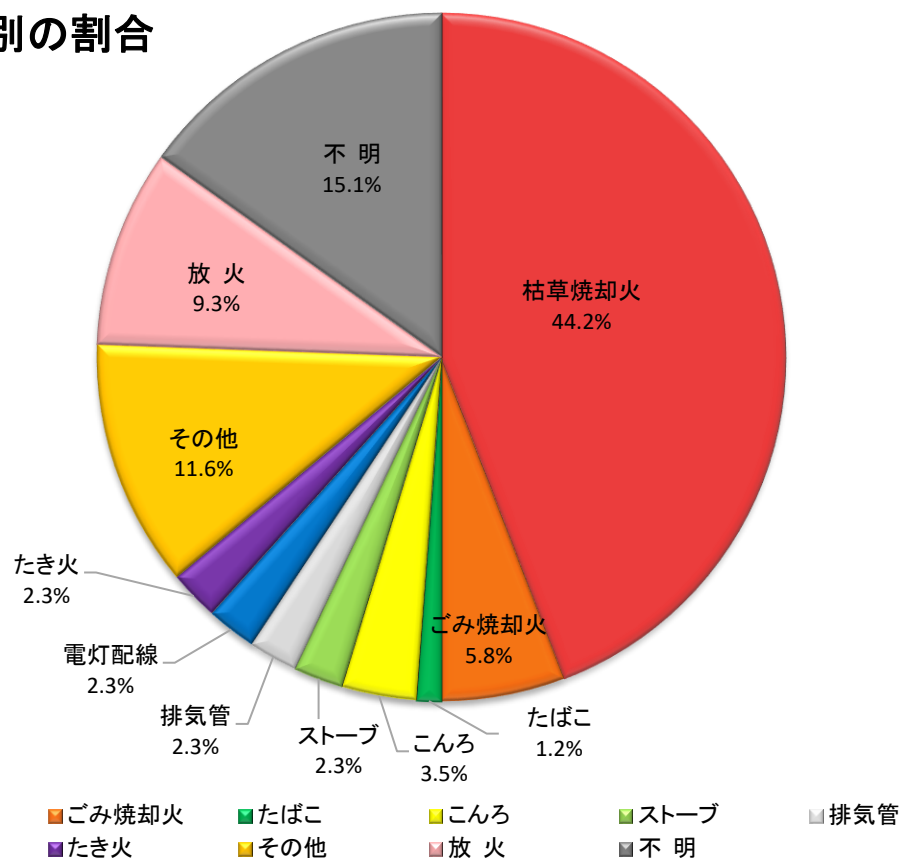


(8) 出火原因別の火災発生状況

区 分 原因別	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
枯草焼却火	38	1	4			33	2	3	4	16					49
ごみ焼却火	5	1		1		3	5	108							936
たばこ	1	1					2	209	1						3,551
こんろ	3	3					3	41	1				3	7	10,568
ストーブ	2	1				1	1	1				1	1	8	286
排気管	2			2											1,014
電気機器															
電灯配線	2	1		1			1	139	1				2	5	8,777
たき火	2	1				1	2	6	20						3,453
花 火															
その他	10	6		2		2	10	1,027	36		1	1	4	13	177,901
放 火	8	3	1	1		3	3		11	5	1	1	2	4	324
不 明	13	8			1	4	19	1,542	158	4	1		9	27	94,341
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200

※ 放火には放火の疑いを、不明には調査中のものを含んでいます。

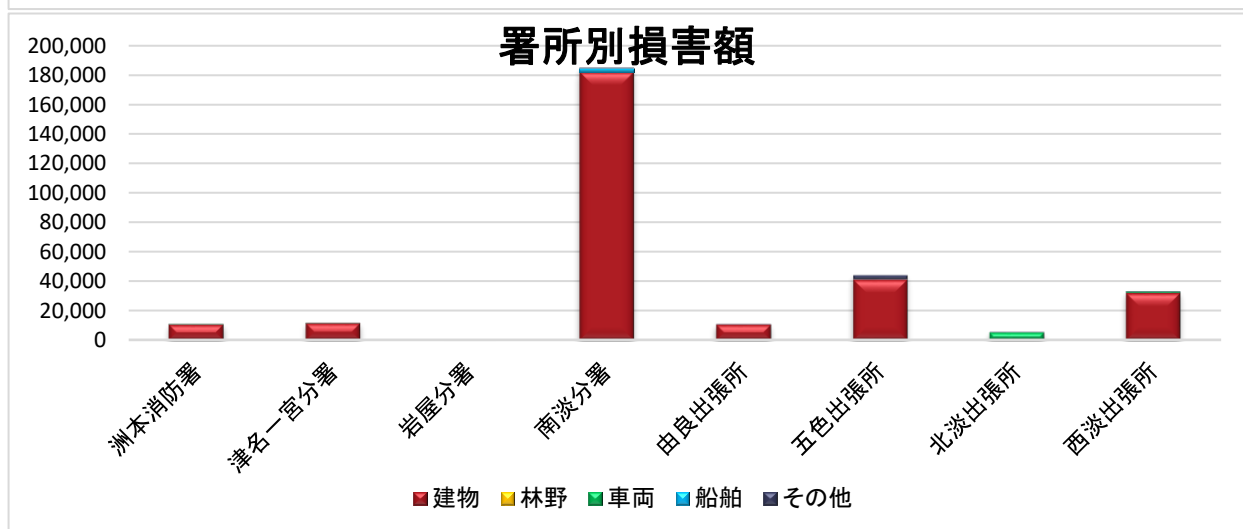
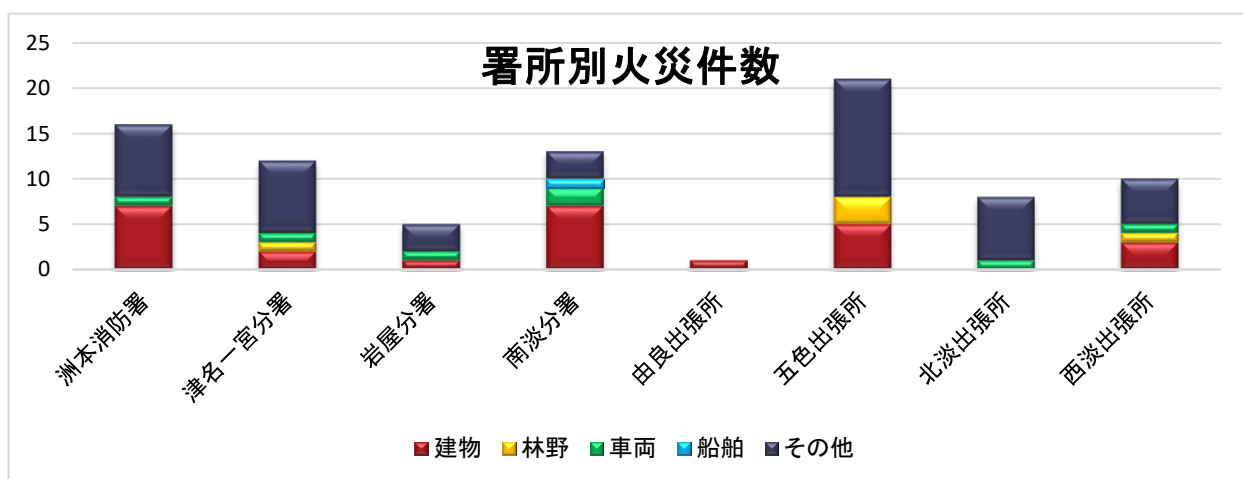
出火原因別の割合



※ 割合の数値は各項目で四捨五入しているため、合算値が100.0%にならない場合があります。

(9) 署所別の火災発生状況

区 分 署所別	火災 件数	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼 損 面 積			死傷者数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
洲本消防署	16	7		1		8	7	149	12		1		3	7	11,098
津名一宮分署	12	2	1	1		8	3	389	1	7			2	5	11,710
岩屋分署	5	1		1		3	1		2		1	1	1	2	39
南淡分署	13	7		2	1	3	18	1,212	73			2	8	33	185,027
由良出張所	1	1					4	145	50		1		3	7	10,925
五色出張所	21	5	3			13	9	615	27	13			2	5	44,006
北淡出張所	8			1		7									5,331
西淡出張所	10	3	1	1		5	6	566	67	5			2	5	33,064
合 計	86	26	5	7	1	47	48	3,076	232	25	3	3	21	64	301,200



2 救急統計

救急業務の概要

令和3年の救急出場件数は5,739件で、令和2年（以下「前年」という。）と比べると219件（約4％）増加しました。

搬送人員は5,263人となり、前年に比べ201人（約4％）増加しています。

平均すると1日に約15.7件救急出場し、島民の割合にすると約25人に1人が救急車によって搬送された計算になります。

出場件数を事故種別ごとにみると急病が3,410件で全体の59.4％を占め、一般負傷が958件で16.7％、その他が728件で12.7％、交通事故が441件で7.7％と続いています。

また、搬送人員を傷病程度別にみると軽症が2,102人で全体の40％、中等症が2,397人で45％、重症が622人で12％、死亡が141人で3％となっています。

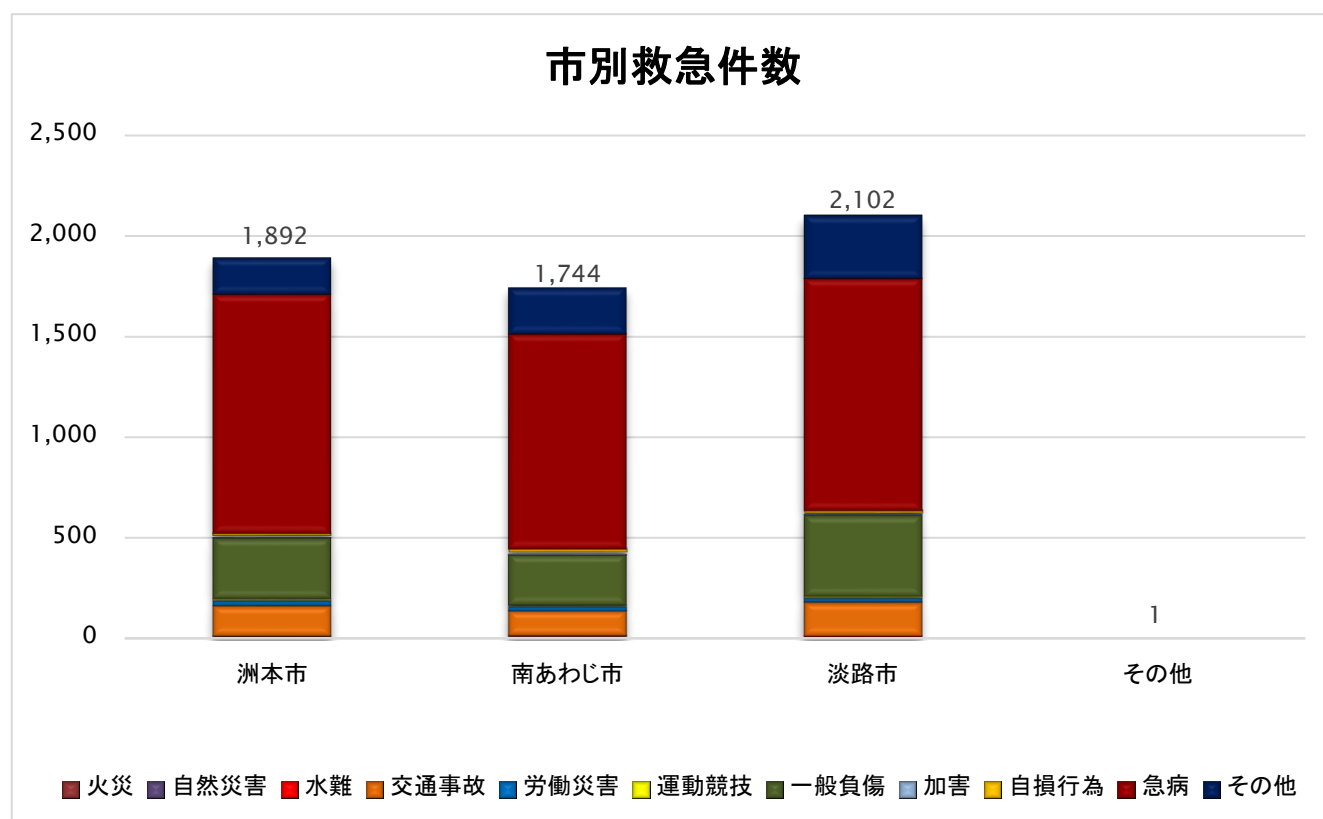
各区分別出場件数上位

区 分	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
市 別 出場件数	淡路市 2,102	洲本市 1,892	南あわじ市 1,744	その他 1	
月 別 出場件数	12月 553	7月 529	3月 511	10月 503	1月 499
覚 知 別 出場件数	119番 5,336	加入電話 273	警察電話 62	その他 61	自己覚知 7
曜 日 別 出場件数	月曜日 890	金曜日 851	土曜日 851	水曜日 801	木曜日 789
時 間 別 出場件数	10時～12時 790	12時～14時 738	8時～10時 711	16時～18時 656	18時～20時 628
年齢区分別 搬送人員	高齢者 3,715	成人 1,237	乳幼児 174	少年 133	新生児 4
署 所 別 出場件数	洲本消防署 1,331	南淡分署 960	津名一宮分署 847	岩屋分署 744	西淡出張所 658
事故種別 出場件数	急 病 3,410	一般負傷 958	その他 728	交通事故 441	労働災害 67

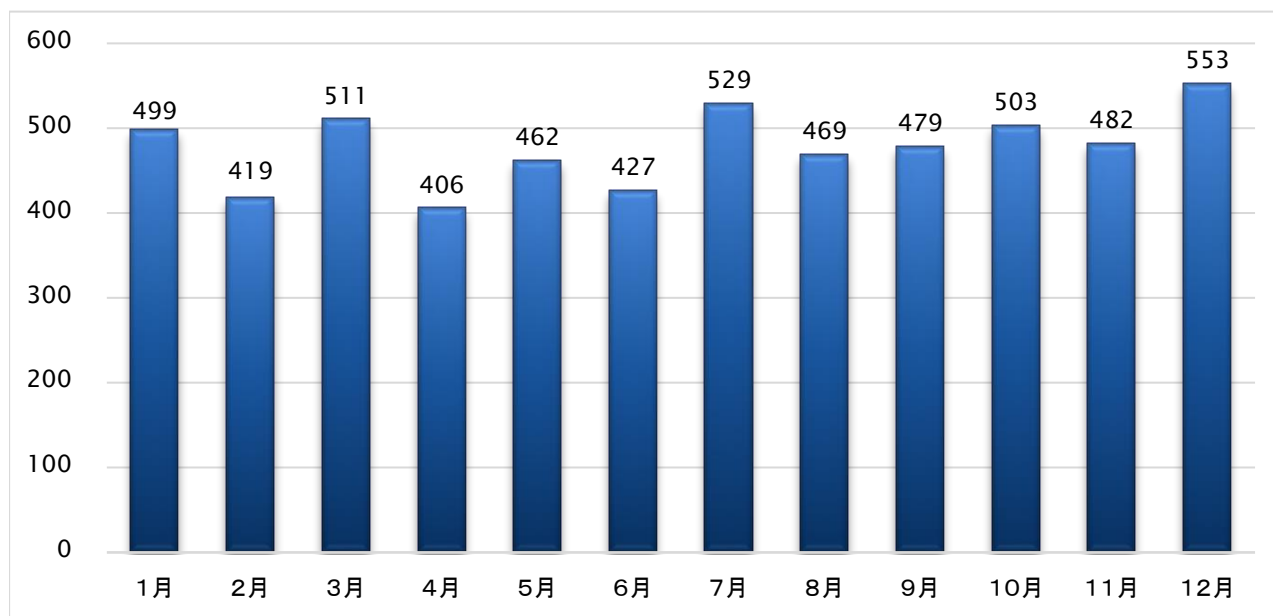
(1) 構成市別の救急出場状況

事故種別 市 別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
洲 本 市	8		5	150	25	9	303	5	16	1,188	183	1,892
南あわじ市	11		3	125	22	4	252	7	21	1,069	230	1,744
淡 路 市	4		9	166	20	9	403	5	18	1,153	315	2,102
そ の 他									1			1
出 場 件 数	23		17	441	67	22	958	17	56	3,410	728	5,739
出 場 率	0.4%		0.3%	7.7%	1.2%	0.4%	16.7%	0.3%	1.0%	59.4%	12.7%	100.0%

※ 出場率の数値は各項目で四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。



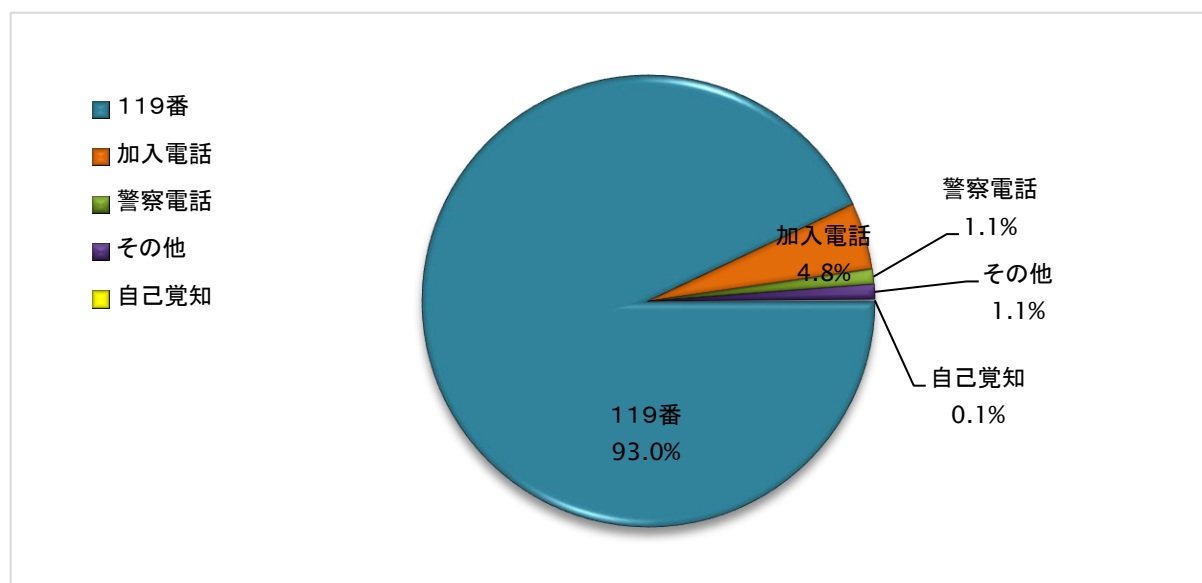
(2) 月別の救急出場件数



月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出場件数	499	419	511	406	462	427	529	469	479	503	482	553	5,739
出 場 率	8.7%	7.3%	8.9%	7.1%	8.1%	7.4%	9.2%	8.2%	8.3%	8.8%	8.4%	9.6%	100.0%

※ 出場率の数値は各項目で四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

(3) 覚知別の救急出場件数



覚 知 別	119番	加入電話	警察電話	その他	自己覚知	合 計
出場件数	5,336	273	62	61	7	5,739
出 場 率	93.0%	4.8%	1.1%	1.1%	0.1%	100.0%

※ 出場率の数値は各項目で四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

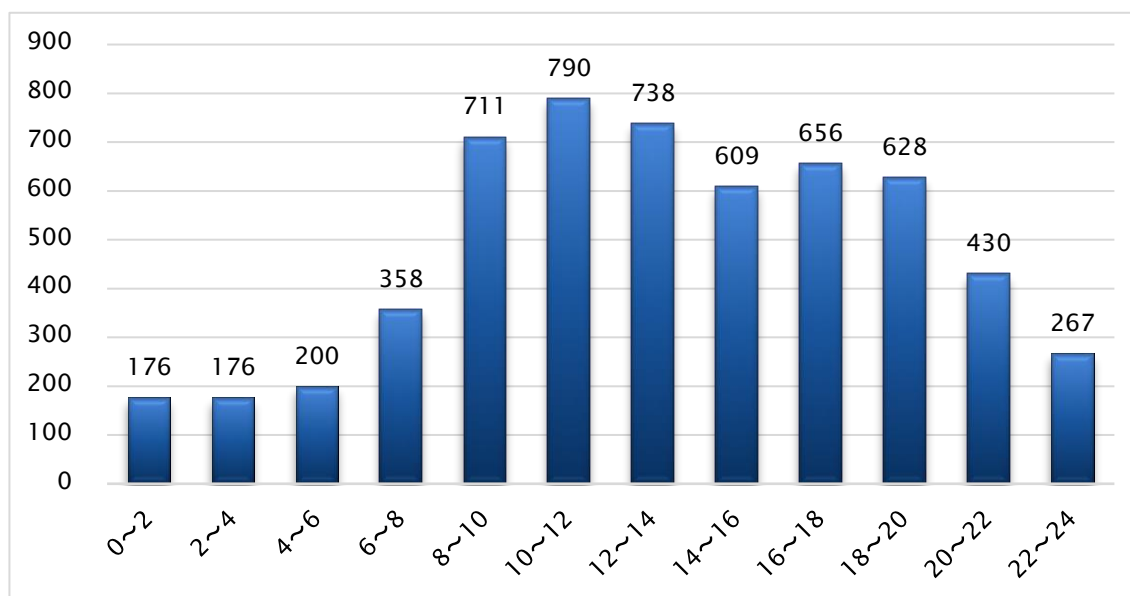
(4) 曜日別の救急出場件数

曜 日 別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
出場件数	782	890	775	801	789	851	851	5,739
出 場 率	13.6%	15.5%	13.5%	14.0%	13.7%	14.8%	14.8%	100.0%

※ 出場率の数値は各項目で四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

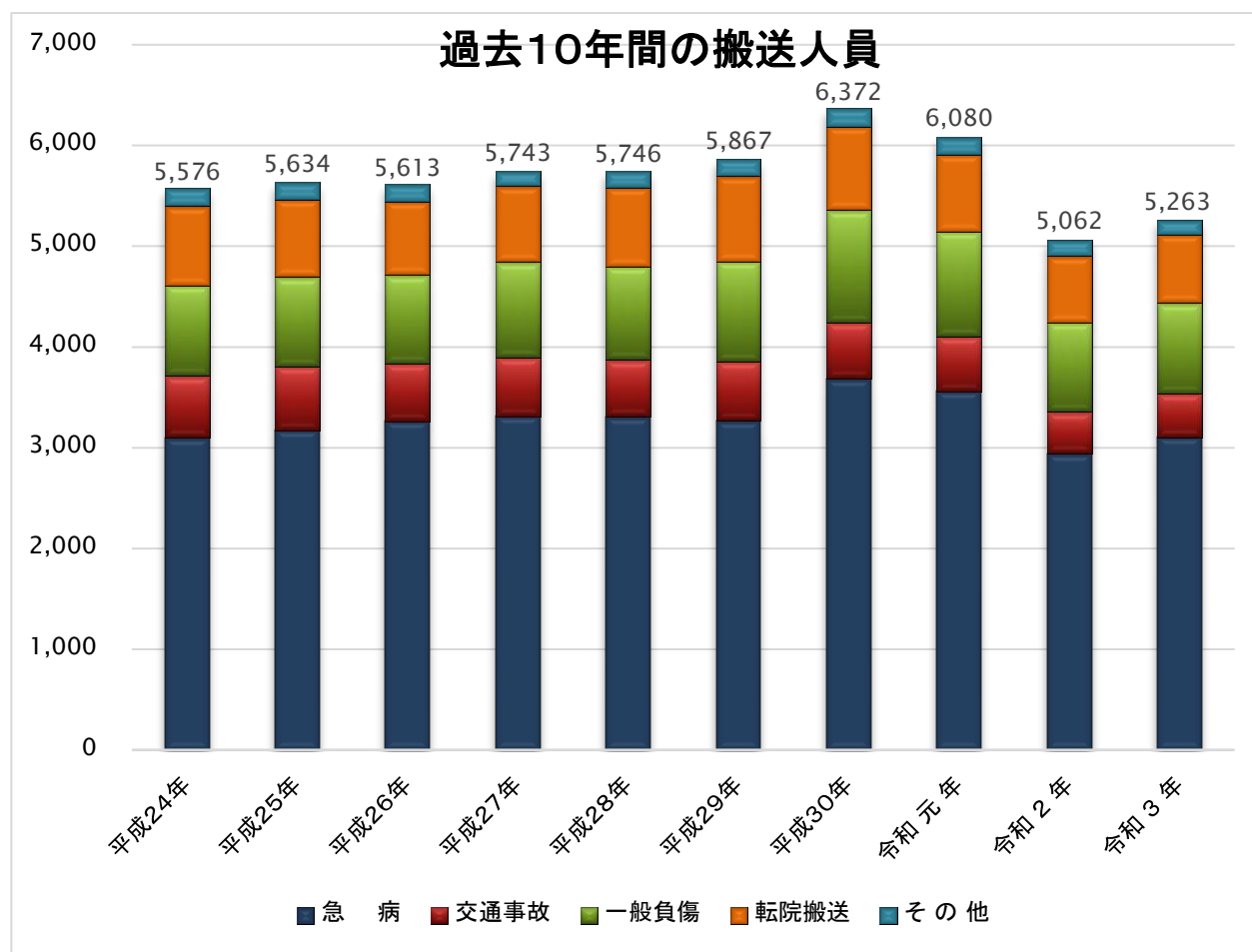
(5) 時間別の救急出場状況

事故種別 時間別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
0 ～ 2	1			12			26	2	2	122	11	176
2 ～ 4	1			5			15	1	1	150	3	176
4 ～ 6	2		1	7	1		34	3	5	142	5	200
6 ～ 8	1		4	29	4		55		7	250	8	358
8 ～ 10	2		3	49	12		131		5	450	59	711
10 ～ 12	2		1	56	13	3	152	2	3	386	172	790
12 ～ 14	2		1	73	13	7	105		2	370	165	738
14 ～ 16	1		2	71	12	2	106	2	5	320	88	609
16 ～ 18	6		3	68	8	8	109		9	337	108	656
18 ～ 20	5		2	44	2	2	107	2	6	398	60	628
20 ～ 22				20	1		71	1	6	300	31	430
22 ～ 24				7	1		47	4	5	185	18	267
合 計	23		17	441	67	22	958	17	56	3,410	728	5,739



(6) 救急搬送人員の推移

事故種別 年	急 病	交通事故	一般負傷	転院搬送	そ の 他	合 計
平成 2 4 年	3,101	614	899	788	174	5,576
平成 2 5 年	3,176	635	885	770	168	5,634
平成 2 6 年	3,262	574	881	727	169	5,613
平成 2 7 年	3,316	582	946	754	145	5,743
平成 2 8 年	3,308	568	922	785	163	5,746
平成 2 9 年	3,270	592	991	845	169	5,867
平成 3 0 年	3,685	558	1,119	827	183	6,372
令和 元 年	3,560	545	1,041	763	171	6,080
令和 2 年	2,941	416	888	660	157	5,062
令和 3 年	3,104	439	895	677	148	5,263

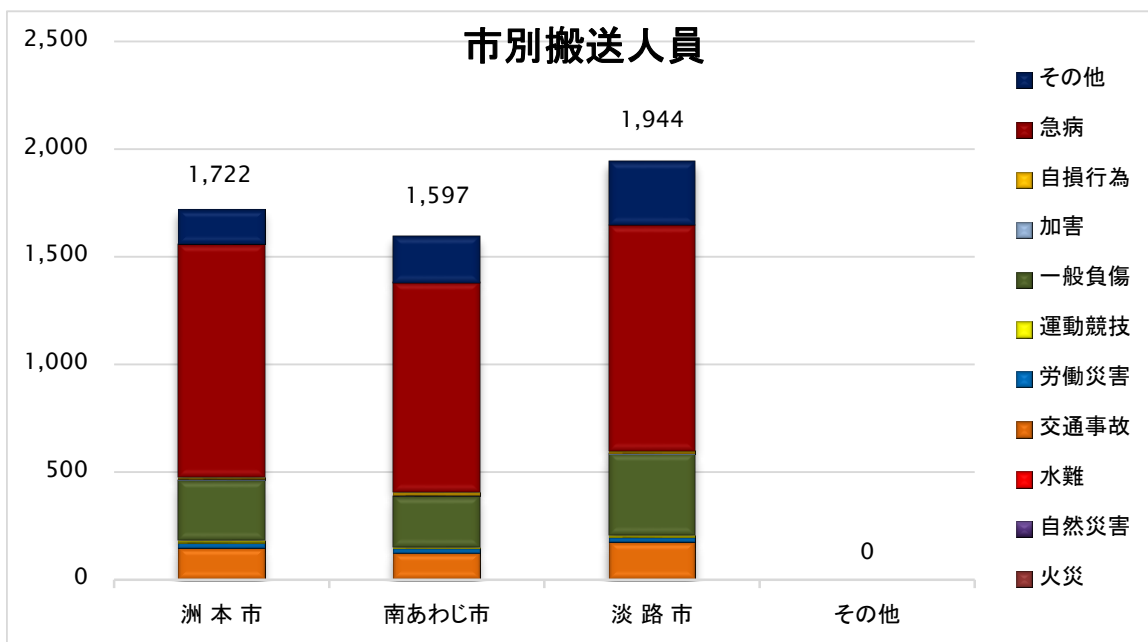


※ その他とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、医師搬送、資器材等輸送及びその他の事案

(7) 構成市別の救急搬送人員

事故種別 市 別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
洲 本 市			4	145	25	8	281	4	7	1,085	163	1,722
南あわじ市	1		2	123	22	4	236	6	13	973	217	1,597
淡 路 市	1		5	171	21	9	378	5	9	1,046	299	1,944
そ の 他												
合 計	2		11	439	68	21	895	15	29	3,104	679	5,263

傷病程度 市 別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
洲 本 市	38	165	758	761		1,722
南あわじ市	52	199	682	663	1	1,597
淡 路 市	51	258	957	678		1,944
そ の 他						
合 計	141	622	2,397	2,102	1	5,263



(8) 年令区分別の救急搬送人員

事故種別 年令区分	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
新生児										1	3	4
乳幼児			1	16			43			105	9	174
少 年			2	30		16	14			66	5	133
成 人	1		3	229	52	5	134	12	19	662	120	1,237
高齢者	1		5	164	16		704	3	10	2,270	542	3,715
合 計	2		11	439	68	21	895	15	29	3,104	679	5,263

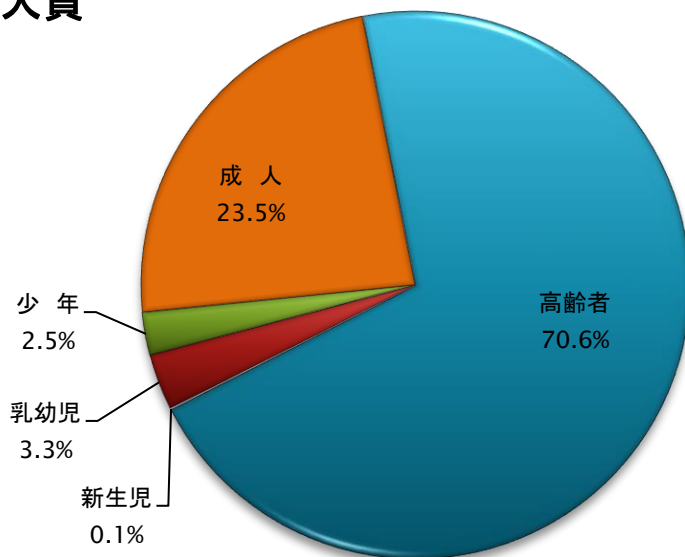
傷病程度 年令区分	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
新生児		1	3			4
乳幼児		2	50	122		174
少 年	1	5	34	93		133
成 人	17	133	419	668		1,237
高齢者	123	481	1,891	1,219	1	3,715
合 計	141	622	2,397	2,102	1	5,263

※年令区分について

新生児・・・生後28日未満 乳幼児・・・生後28日以上満7才未満 少 年・・・満7才以上満18才未満
 成 人・・・満18才以上満65才未満 高齢者・・・満65才以上

年令区分別搬送人員

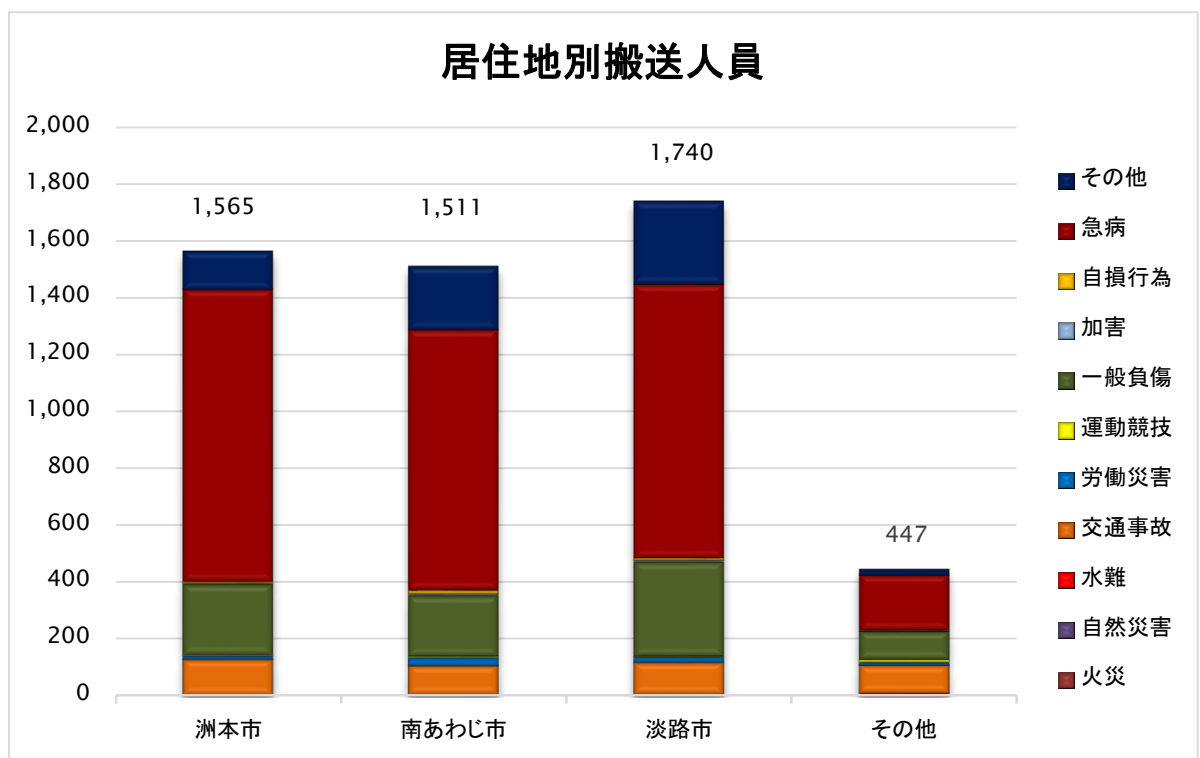
■ 新生児
■ 乳幼児
■ 少 年
■ 成 人
■ 高齢者



(9) 居住地別の救急搬送人員

事故種別 居住地別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
洲本市			1	124	12	4	250	3	6	1,028	137	1,565
南あわじ市	1		1	103	27	5	214	6	13	916	225	1,511
淡路市	1		2	113	18	3	332	4	9	964	294	1,740
その他			7	99	11	9	99	2	1	196	23	447
合 計	2		11	439	68	21	895	15	29	3,104	679	5,263

傷病程度 居住地別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
洲本市	38	146	706	675		1,565
南あわじ市	51	193	663	603	1	1,511
淡路市	48	232	909	551		1,740
その他	4	51	119	273		447
合 計	141	622	2,397	2,102	1	5,263



(10) 収容所要時間別の救急搬送人員

事故種別 所要時間別	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
1 0 分未満	207	74	60	120	461
1 0 分以上 2 0 分未満	1,782	256	508	537	3,083
2 0 分以上 3 0 分未満	916	83	268	149	1,416
3 0 分以上 6 0 分未満	191	26	56	18	291
6 0 分以上 1 2 0 分未満	8		3	1	12
1 2 0 分以上					0
合 計	3,104	439	895	825	5,263

※ その他とは、火災、自然災害、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、その他の事故の合計。

(11) 傷病程度別の救急搬送人員

事故種別 傷病程度別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡	1		4	1	1		22		10	101	1	141
重 症			1	39	9	2	76	1	2	343	149	622
中 等 症				97	26	6	414	3	11	1,380	460	2,397
軽 症	1		6	302	32	13	383	11	6	1,280	68	2,102
そ の 他											1	1
合 計	2		11	439	68	21	895	15	29	3,104	679	5,263

(12) 救急隊員の行った応急処置状況

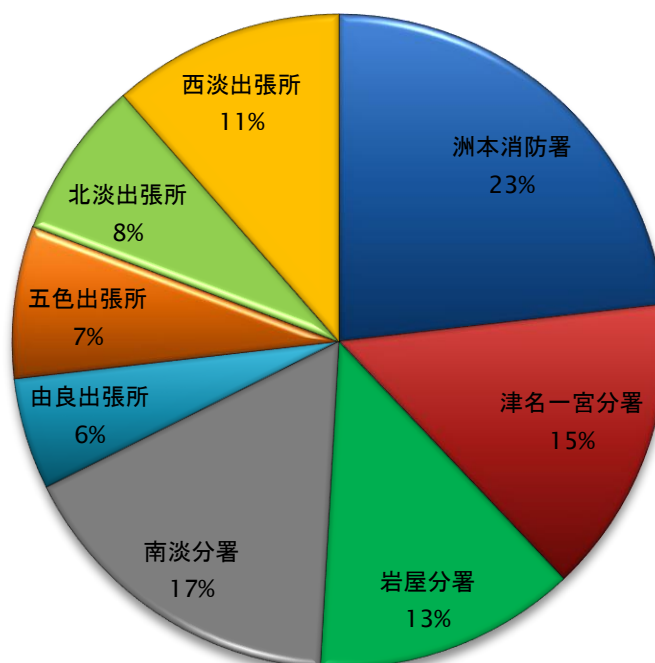
応 急 処 置	止 血	固 定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	除細動	静脈路確保 (輸液)	薬剤投与	保 温	血圧測定	そ の 他
処 置 件 数	140	286	13	146	1,135	223	16	121	57	1,219	5,121	18,268

(13) 署所別の救急出場状況

署所別 \ 事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
洲本消防署	出場件数	5		3	112	16	5	199	6	12	807	166	1,331
	搬送人員			1	112	16	4	189	5	6	737	157	1,227
津名一宮分署	出場件数	4		1	72	6	7	165		9	493	90	847
	搬送人員			1	72	6	7	149		4	436	84	759
岩屋分署	出場件数	1		4	60	5		133	3	7	369	162	744
	搬送人員	1		3	62	7		127	3	3	341	155	702
南淡分署	出場件数	10		1	63	13	2	135	4	12	568	152	960
	搬送人員	1		1	60	13	2	129	3	7	505	142	863
由良出張所	出場件数	1			27	1	2	63		1	188	35	318
	搬送人員				26	1	2	56			170	24	279
五色出張所	出場件数	1		3	25	9	3	69		3	307	12	432
	搬送人員			3	25	9	3	62		1	275	12	390
北淡出張所	出場件数			3	31	9	1	94	2	3	250	56	449
	搬送人員			1	31	8	1	91	2	2	236	53	425
西淡出張所	出場件数	1		2	51	8	2	100	2	9	428	55	658
	搬送人員			1	51	8	2	92	2	6	404	52	618
合計	出場件数	23		17	441	67	22	958	17	56	3,410	728	5,739
	搬送人員	2		11	439	68	21	895	15	29	3,104	679	5,263

署所別の出場割合

- 洲本消防署
- 津名一宮分署
- 岩屋分署
- 南淡分署
- 由良出張所
- 五色出張所
- 北淡出張所
- 西淡出張所



3 救助統計

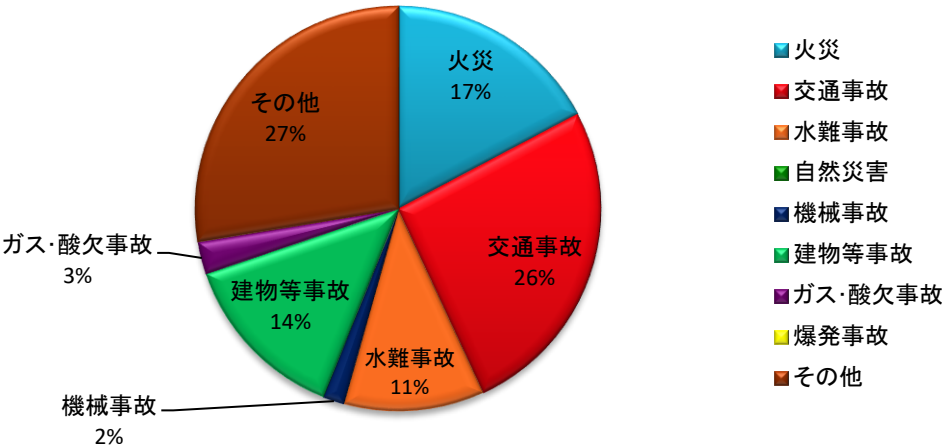
救助業務の概要

令和3年の救助出動件数は116件で、令和2年（以下「前年」という。）に比べると11件増加しました。

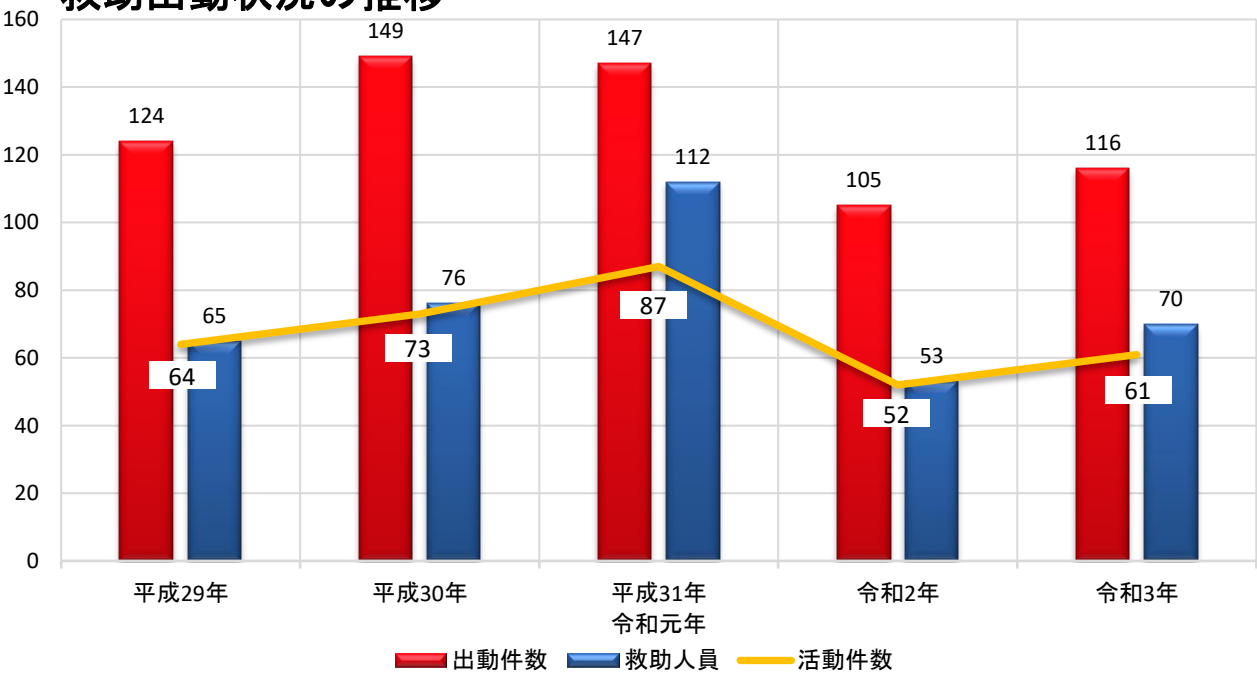
活動件数は61件で、70人の方々の救助救出しました。（前年に比べ9件増、17人増）

種別ごとに比較すると、その他の事故が32件で全体の27%を占め、次いで交通事故が30件、火災が20件と続いています。

救助事故種別の出動割合



救助出動状況の推移



(1) 構成市別の救助出動状況

種 別 市町別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
洲 本 市	7		12	5			4			11	39
南あわじ市	9	1	8	4		1	3			11	37
淡 路 市	3		10	4		1	9	3		9	39
他 の 市 町										1	1
合 計	19	1	30	13		2	16	3		32	116

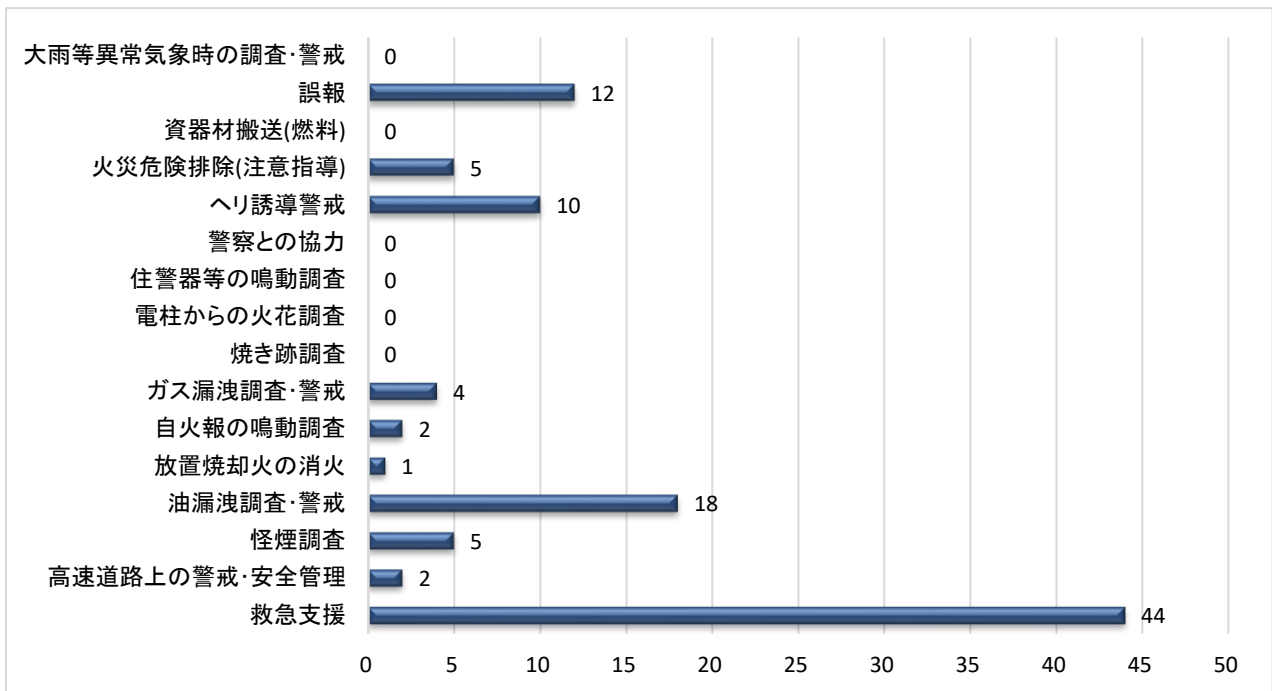
(2) 月別の救助出動状況

種 別 月 別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1 月	1		2							1	4
2 月	3		2				1	1		2	9
3 月	5		4	1			2			7	19
4 月	1		4							3	8
5 月			1	1						2	4
6 月	2		2	2							6
7 月	2		1	1			1	1		2	8
8 月	1		3	2			1			2	9
9 月	2		1	3		1	3			1	11
10 月		1	5							4	10
11 月			3	3			3			2	11
12 月	2		2			1	5	1		6	17
合 計	19	1	30	13		2	16	3		32	116

(3) 発生場所別の救助出動等の状況

種 別 発生場所別			(上段) 出動件数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自然災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	
			(中段) 活動件数	建	建 物 以 外									
屋 内	住 居		36	7						14			15	
			15	1						14				
			15	1						14				
	その他の屋内		14	12						2				
			2							2				
			2							2				
屋 外	道 路	高速道路		5			3						2	
				1			1							
				1			1							
		他の道路		23			23							
				17			17							
				20			20							
	水 面	内 水 面		5				3					2	
				3				1					2	
				3				1					2	
		外 水 面		12		1		10					1	
				8				8						
				13				13						
	山 岳													
	その他の屋外		21			4			2		3		12	
			15			4			2		3		6	
			16			5			2		3		6	
地 下														
そ の 他														
合 計				116	19	1	30	13		2	16	3		32
				61	1		22	9		2	16	3		8
				70	1		26	14		2	16	3		8

4 その他の出動状況



5 神戸淡路鳴門自動車道の災害出動状況

(垂水 J C T ~ 鳴門北 I C)

災 害 出 動 件 数				出 動 台 数	出 動 人 員
災 害 種 別	火 災	車 両	1	延べ 39 台	延べ 114 人
		そ の 他	1		
	救 助	救 助	4		
	その他災害	警 戒 等	14	延べ 45 台	延べ 137 人
		交通事故	23		
		急 病	13		
	救 急	そ の 他	9		
合 計			65	延べ 84 台	延べ 251 人

救 急 出 場 の 状 況				
区 分	交 通	急 病	そ の 他	合 計
出 場 件 数	23	13	9	45
搬 送 件 数	11	12	5	28
搬 送 人 員	17	12	5	34
傷 病 程 度	死 亡	0	0	0
	重 症	1	0	2
	中 等 症	3	2	1
	軽 症	13	10	2

令和 3 年 消 防 年 報

(令和 4 年 6 月 発行)

淡路広域消防事務組合消防本部

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋一丁目 2 番 3 2 号

TEL (0799)24-0119 FAX (0799)24-4575